

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 公益財団法人札幌国際プラザ

1. 事業名称

多文化共生コミュニティ形成のための日本語教育事業

2. 事業の目的

札幌市の外国人住民は市内に点在して居住しており、日本語が理解できない場合は地域で孤立することもある。子育てや災害時など、住民同士が言葉の壁を越えて助けあう多文化共生コミュニティをつくるためには、外国人だけでなく日本人に対しても日本語教育の重要性の理解を広げる必要がある。また、目的達成のために、幅広い担い手の連携が不可欠である。事業を通じて日本語を習得した外国人が、生き活きとした地域づくりの主体的な担い手となることを目指す。

3. 事業内容の概要

- ・日本語教育関係者のための連絡会議の開催（①関係機関等の連携・協力を推進する検討体制の整備）
情報交換と研修の場を設け、日本語教育をはじめとする関係機関の連携を強化し、相互協力の体制を整備する。
- ・子育て・生活・防災・日本文化をテーマにした体験型日本語教育（②多様な機関等との連携・協力に基づく日本語学習機会の拡充）
外国人住民に、生活シーンにあわせた日本語を実践的に学ぶ場を提供する。
- ・外国人のための日本語教育に関するシンポジウムの開催（③取組の成果の発信）
広く市民に日本語教育の重要性を知らせ、多文化共生のまちづくりへの理解を促進する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年4月 8日(火) 16:00～18:00	2時間	札幌国際 プラザ 小会議室	阿部仁美 内田幸子 神谷順子 齋藤研吾 小林進 後藤道	年間計画の方向性と詳細の検討	・文化庁委託事業「生活者としての外国人のための日本語教育事業」の内容確認 ・各取組に対する意見交換
2	平成26年11 月5日(水) 14:00～16:00	2時間	札幌国際 プラザ 小会議室	内田幸子 神谷順子 齋藤研吾 船着千世 小林進 後藤道	・年度前半の事業中間報告 ・年度後半の事業の検討 ・シンポジウムの内容の検討	・後半に実施を予定している事業についての企画や広報についての意見交換 ・シンポジウムの企画に関する意見交換
3	平成27年2月 25日(水) 16:00～18:00	2時間	札幌国際 プラザ 小会議室	阿部仁美 内田幸子 神谷順子 齋藤研吾 船着千世 小林進 後藤道	・年度後半の事業の報告 ・次年度以降の日本語教育事業についての意見交換	・新しい担い手の発掘 ・事業の周知方法の見直しや学習者へのニーズへの対応 ・プラザ自体の周知促進

5. 取組についての報告

○取組1：日本語教育関係者のための連絡会議

(1) 体制整備に向けた取組の目標

組織を超えた連携により情報共有が可能になり、学習者に対してよりきめ細かい支援ができるようになる。

(2) 取組内容

日本語教育関係者のための連絡会議（講演、ワークショップ、意見交換会）

(3) 対象者

札幌市内・近郊で外国語母国語者への日本語教育委事業に携わる日本語教師、ボランティア、加配教員、団体職員、その他

(4) 参加者の総数 _____ 65 人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	65人

(5) 開催時間数(回数) _____ 9時間 (全 3 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年10月19日 13:00～16:00	3時間	札幌国際プラザ 会議室	40人	日本人 (40)	多文化共生構築のための日本語教育	多文化共生社会構築のためになぜ日本語教育が欠かせないのかという講演。また、日本語ボランティア団体が抱える問題について、どのように解決に導けばいいのかワークショップ形式で意見交換。	土井 佳彦 (多文化共生リソースセンター東海 代表理事)	
2	平成26年11月22日 (土) 13:00～16:00	3時間	ACU 中研修室	33人	日本人 (33)	多様化する日本語学習者が抱える問題と対応	日本語学習者が抱える様々な問題について、講演と事例を通して学び、どのように解決に導けるのかともに考えながら対応力をつける。	山本 弘子 (カイ日本語スクール 代表)	
3	平成26年12月21日 (日) 13:00～16:00	3時間	ACU 中研修室	27人	日本人 (27)	日本語教育から考える札幌のまちづくり	札幌の日本語教育が抱える課題や問題を共有し、日本語学習者が地域に定着するために担い手がどう連携すればいいのか話し合いながら考える。	野山 広 (国立国語研究所 准教授)	

(7) 参加者の募集方法

①日本語学校、ボランティア団体、外国人支援団体、教育委員会、札幌市国際部への書面による通知

②関係団体へのメール通知

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

①地域日本語教育パワーアップセミナー①～多文化共生構築のための日本語教育～

札幌圏の日本語教育の担い手が課題を共有し、学びながら連携できる場として、「日本語」をキーワードにしたワークショップを開催した。第1回目は、多文化共生リソースセンター東海の土井佳彦氏をお招きし、導入として多文化共生社会を構築するためになぜ「日本語教育」が重要なのかを簡単にお話頂いた。その後、札幌にある日本語ボランティア2団体に、団体として抱えている問題点を挙げてもらい、全国で工夫している事例をもとにグループごとに解決にむけて意見交換を行った。参加者からは、「共通の問題を皆で議論できてよかった」「問題解決のアイデアを具体的に示してもらえて、今後の活動の参考になった」などの声が聞かれた。

②地域日本語教育パワーアップセミナー②～多様化する日本語学習者が抱える問題と対応～

第1回目は、「支援する団体」側の問題点を挙げたが、第2回目は「学習者」という視点で問題点について、新宿カイ日本語スクールの山本弘子氏を招いてワークショップを行った。集住都市である新宿で実際に起きたいくつかの例を用い、グループごとにどう対処すべきかを事例研究を行った。参加者が実際に遭遇したケースと同様の事例もあったほか、今後の札幌でも起こりうるような具体的な案件であったため、様々な立場から外国人を支援する参加者たちから多様な意見が飛び交っていた。参加者アンケートからも、話し合いの中から解決法や対策を知ることができた、という声が聞こえ、様々な担い手同士が交流している姿が見られた。

③地域日本語教育パワーアップセミナー③～日本語教育から考える札幌のまちづくり～

第1回、第2回では団体や学習者が抱える個別のテーマを取り上げたが、第3回では実際に札幌が持つ日本語教育のリソースを使って、各担い手がどのように連携していくかをグループワーク形式で意見交換を行った。「外国籍市民の居場所づくり」「留学生、退職した学校教員のボランティアの活用」など、今後の日本語教育事業に活かせる意見が数多く挙げられた。



第1回連絡会議(10/19)



第2回連絡会議(11/22)

(9) 取組の目標の達成状況・成果

3回のワークショップは、「日本語教育関係者のための連絡会議」という位置づけで、札幌市内・近郊で外国人支援に関わる多様な機関・団体の担い手同士が、学びながら情報を共有し、連携する機会を設けることを目的としている。それぞれの回で講義だけでなく、問題を共有し解決に向けた話し合いを行う機会を設けたため、参加者同士のつながりが深まった。

アンケート結果においても、問題をどう解釈するか皆で話し合う機会が持てて、自分の活動へのヒントとなり有意義だったという評価が毎回多数挙げられており、担い手同士が課題を共有し札幌全体で連携しながら解決していくためのきっかけとなった。

(10) 改善点について

対象が「日本語教育関係者」ということで、日本語ボランティア団体、日本語学校、外国語ボランティア、自治体職員などに周知を行ったが、3回の参加者が固定化する傾向があった。新たな担い手に向けて情報を発信するとともに、「日本語教育関係者」とはだれなのか、多様な視点の周知を行うことも検討したい。

○取組2:日本語で暮らそう 子育て・生活の日本語

(1) 体制整備に向けた取組の目標

基礎的な日本語能力とともに、生活に必要な知識、日本語の語彙を身につける。

(2) 取組内容

①「日本語で子育て～母子保健セミナー～」

外国籍市民を対象に、母子保健・予防接種・札幌市が提供する子育て支援サービスについて、市の保健所職員・子ども未来局の職員から説明するセミナーを実施する。

市が発行する日本語で配布される資料の理解を助けるために、英語・中国語の対訳資料を作成する。

②「生活の日本語会話 ～レッツ・トーク日本語～」

日常生活の場面を題材にした会話を中心に日本語を学ぶ。「『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案」のほか、季節の話題や、市のニュースなど、地元の生活に密着した題材を取り上げる。

(3) 対象者 札幌市在住の外国人、多文化の背景を持つ親子

(4) 参加者の総数 83 人

出身・国籍別内訳

中国	5人	インドネシア	1人	
韓国	7人	タイ	2人	ノルウェー(9)、台湾(9)、アメリカ(5)、スペイン(4)、香港(4)、マレーシア(3)、イギリス(2)、イタリア(2)、エジプト(2)、カナダ(2)、ロシア(2)、アイルランド、アルメニア、インド、ウイグル、オランダ、キューバ、ケニア、ジャマイカ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、フランス、ブルキナファソ、メキシコ、モーリシャス(1)
ブラジル	1人	ペルー	人	
ベトナム	1人	フィリピン	5人	
ネパール	1人	日本	1人	

(5) 開催時間数(回数) 36.5 時間 (全24回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
22	平成26年4月9日 ～平成27年3月 11日までの毎月 第2・4水曜日 14:00～15:30	33	札幌国際プラ ザ 交流サロン	40	韓国(6)、台湾 (5)、中国(4)、香 港(3)、アメリカ (3)、イギリス(2)、 マレーシア(2)、ア ルメニア、イタリ ア、インド、インドネシ ア、エジプト、オラ ンダ、カナダ、ケニ ア、タイ、デンマー ク、ドイツ、ブラジ ル、ベトナム、モー リシャス、ロシア (1)	レッツトーク日本 語	日本語で自由に会 話する	日本語ボラ ンティア 「窓」	
1	平成26年10月24 日(金)18:30～ 20:00	1.5	札幌国際プラ ザ 交流サロン	31	ノルウェー(9)、台 湾(4)、スペイン (2)、タイ(2)、香港 (2)、アメリカ、イタ リア、ウイグル、カ ナダ、韓国、ジャマ イカ、スウェーデ ン、中国、ネパー ル、フランス、マ レーシア、メキシコ (1)	レッツトーク日本 語スペシャル～ アニメで学ぶ日 本語～	アニメを使って、話 し方の特徴や、状 況を説明する力を つける。	日本語ボラ ンティア 「窓」	
1	平成26年11月9 日(日) 13:30～15:30	2	札幌国際プラ ザ 交流サロン	14	フィリピン(5)、スペ イン(2)、ロシア、ア メリカ、ブルキナ ファソ、エジプト、ア イルランド、キュー バ、日本(1)	さっぽろで子育て をたのしもう！ ～赤ちゃんの保 健と子育て支援 サービスについ て知ろう～	第1部 ①母親の妊娠～3 才までの母子保健 ②子育て支援・保 育サービス 第2部 ①乳幼児期 に代表的な疾患や 予防接種 ②質疑応答	池村 麻衣 子(札幌市 保健所) 加藤 正典 (札幌市子 ども未来局 係長) 福山 桂子 (勤医協病 院 医師)	

(7) 参加者の募集方法

札幌市広報誌、英文情報誌、当財団ウェブサイト、多言語メールマガジン、チラシ配布、など。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

①「日本語で子育て～母子保健セミナー～」(11/9)

出産や子育てを控えている、もしくは現在子育て中の外国籍の保護者を対象に、母子保健や保健や子育て支援についてのセミナーを開催した。保健師や札幌市の子ども未来局の職員が講師となり、日本語で、妊娠出産から予防接種などの各種保険制度についての説明をした(英語通訳付き)。日・英両方の資料を準備し、参加者の理解を促すとともに、母子保健に関する日本語についても学べる機会とした。終了後は参加者同士で交流する姿が見られ、同じ札幌で子育てをする外国籍市民同士のつながりがうまれていた。

②「生活の日本語会話 ～レッツ・トーク日本語～」

日本の季節の行事や話題のニュースをテーマにとりあげ、日本語で自由な会話をする場となった。日本人との自然な会話に触れ、会話の力を身に着けるため積極的に会話を行っている風景が見られた。また10月24日に開催したスペシャルでは、人気アニメを使って、キャラクターによる話し方の特徴を学習したり、映像の中の状況を相手に説明する練習や実際に登場人物になって話すロールプレイを行った。最後に参加者に発表してもらった感想では、「日本語学習へのやる気が高まった」「楽しく日本語を学べた」という声が聞こえた。



レッツトーク日本語スペシャル(10/24)



母子保健セミナー(11/9)

(9) 取組の目標の達成状況・成果

母子保健セミナーについては、妊娠または子育て中の外国籍市民が参加した。参加者にとっては「保育園と幼稚園の違い」など、母子保健や子育ての知識と一緒に、日本で子育てをするうえで必要な日本語も学ぶ機会となった。レッツトーク日本語は、日本語での会話に慣れ親しむことを目的としている。毎回設定する時事や季節に関するテーマについて、自分の意見を伝える力を身につけるようにできた。また時間帯を変えて行ったスペシャルでは、アニメを題材にし、キャラクターごとの話し方の違いなどを学び、楽しんで学習する機会を設けることができた。

(10) 改善点について

母子保健セミナーでは、保育所の入所に関する質問や相談が多く、関心の高さがうかがえた。今回は日本語や英語を多少でも理解する人が多かったが、今後は多言語で開催する可能性も考えたい。レッツトーク日本語は、申し込み制ではないため、参加者が少ない日も多かった。札幌市には働いている人や留学生などが多い現状を考慮し、日にちを増やすことや時間帯を変えるなど参加者のニーズに対応することも検討していく必要がある。

○取組3:防災の日本語講座～やさしい日本語で伝えよう～

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国人は、災害時にどのように身を守ったり、情報を得るか、基本的な知識を身につける。「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションを取る方法を身につける。また、地域の日本人と外国人が「やさしい日本語」を用いることで、同じ地域に暮らす住民としての日常的な交流と相互理解が生まれる。

(2) 取組内容

札幌に暮らす外国人住民が、災害などの非常時に言語・文化・習慣等に起因する障害に阻まれて困難な状況に置かれることがないように、防災体験施設を見学・体験したり、地域の防災訓練に参加し、災害時に必要な日本語を実践的に学ぶ。また、災害時の共通言語となる「やさしい日本語」の有用性を、外国人だけでなく日本人にも伝える。

(3) 対象者 札幌市在住の外国人、日本人

(4) 参加者の総数 45 人
出身・国籍別内訳

中国	3人	インドネシア	1人	アメリカ(3)、カナダ(3)、台湾(2)、イギリス、トルコ、マレーシア、ブルキナファソ、フランス、ポルトガル、ブラジル、各1名
韓国	3人	タイ	2人	
ブラジル	1人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	20人	

(5) 開催時間数(回数) 6時間 (全2回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年9月1日 9:00~12:30	3.5時間	札幌大学	7人	アメリカ、中国、 タイ、マレーシ ア、韓国、シンガ ポール、カナダ (1)	防災ツアー2014	札幌市の総合防災訓練に参加しながら、災害時にどのように情報を得るかなど必要な知識を身に着けたり、地域の人と連携しながら避難所開設訓練に携わる。また、災害について意見交換会を行う。	札幌国際プラザ	垣内 紀子 (札幌国際プラザ外国語ボランティア)
2	平成26年11月19日 10:00~12:30	2.5時間	札幌国際交流館 体育室	38人	日本(21)、アメリカ(2)カナダ(2)、韓国(2)、台湾(2)、中国(2)、ブルキナファソ、イギリス、トルコ、ブラジル、フランス、ポルトガル、タイ、インドネシア、ケニア(1)	防災バスツアー2014 「避難シミュレーションゲーム」	日本人と外国人がグループになり、津波が到達するまでの5分のあいだに、がれきや積雪などを想定したコースを「やさしい日本語」を使って助け合いながら避難する。	末澤弘太 (NPO法人ホワイトベースとくしま) 阿部仁美 (北海道日本語教育ネットワーク)	大井裕子 (北海道日本語教育ネットワーク)

(7) 参加者の募集方法

札幌市広報誌、英文情報誌、当財団ウェブサイト、多言語メールマガジンなど。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

①防災ツアー2014

札幌市の総合防災訓練に参加しながら、簡単な防災用語や災害時に役立つ知識や日本語を学んだ。避難所開設訓練では、地元の高校生と一緒に簡単な日本語を使いながら食料を配布し、地域住民とのコミュニケーションを行った。また午後に行った意見交換会では、参加者同士で「緊急地震速報」や「お薬手帳」などの災害時に使う日本語や、災害伝言ダイヤルの使い方などを確認しあった。

②防災バスツアー2014「避難シミュレーションゲーム」

外国籍市民と札幌市民が5~6人で同じチームになり、ことばがわからない、負傷したなどのハンデを背負った人と一緒に避難するゲームを開催。1回目はことばがわからない状態でコースをクリアしてもらい、その後災害時に日本人と外国人の共通語となる「やさしい日本語」講座を行った。その後は、「短い文章で話す」「カタカナ語や擬音語を使わない」など積極的に「やさしい日本語」を取り入れた。参加者は、体験後も交流を深めていた。



9/1防災ツアー



11/16 避難シミュレーションゲーム



(9) 取組の目標の達成状況・成果

災害に役立つ知識や防災用語に触れる機会を提供するとともに、災害が起きたらどのようなことが想定されるのかを講師の体験談や写真により、実感を持って知る機会が提供できた(英語翻訳資料あり)。また、災害時には日本人と外国人の共通言語となる「やさしい日本語」について、外国人だけでなく日本人と一緒に学び、その後実践で使用することで、実際に災害に合ったときにどのような言葉で何を伝えなければいけないのかを実感してもらうことができた。参加者アンケートからは、「相手に伝わるように話すことが重要だと思った」「人に会うことは、日本語を勉強する上でいい方法だった」などの意見が聞かれた。

(10) 改善点について

講師には、ゆっくり簡単な日本語でお話いただくようお願いしていたが、実際に使う言葉がかなり難しかったという意見が多かった。理解補助のために英訳資料もつけていたが、事前に必要な語句に関して確認する必要がある。次年度以降は、防災に対する心構えやなぜ防災に対する言葉や取組が重要になるかを含めて伝えられる内容にしたい。

○取組4: 日本文化・スポーツ体験～行ってみよう、やってみよう～

(1) 体制整備に向けた取組の目標

多文化共生社会の実現に向けて不可欠な、最も身近な単位である地域コミュニティで、日本人、外国人双方が「隣人としての外国人・日本人」を自然に受け入れられる環境づくりを進める。

(2) 取組内容

異なる文化を持つ者同士が同じコミュニティに居住する際、コミュニケーションの不足や行き違いがトラブルの原因となる場合もある。また、災害時など有事の際には、地域との繋がりを持たない外国人が必要な情報を得られず困難な状況に置かれる可能性がある。そうした状況を作らないために、着付け、書道、料理などの日本文化を講義と体験を通じて学んだり、スポーツを地域住民とともに楽しみながら日本語に親しむ機会を設ける。参加者には、体験を通して日本の文化や習慣に親しみをもち、日本語を学ぶ楽しさを知ってもらおうと同時に、体験の中で日本人との自然な会話に触れてもらう。

(3) 対象者 札幌市在住の外国人、日本人

(4) 参加者の総数 421人
出身・国籍別内訳

中国	44人	インドネシア	15人	台湾(14)、ミャンマー(9)、アメリカ(6)、マレーシア(6)、オーストラリア(4)、ロシア(4)、インド(3)、スイス(3)、トルコ(3)、フランス(3)、イギリス(2)、カナダ(2)、スペイン(2)、ニカラグア(2)、バングラデシュ(2)、香港(2)、アイルランド、アルゼンチン、エジプト、カザフスタン、ザンビア、シンガポール、スウェーデン、スリランカ、ネパール、パラグアイ、ブルキナファソ、ポリビア、ポルトガル、モザンビーク(1)、国籍不明(35)
韓国	8人	タイ	5人	
ブラジル	4人	ペルー	人	
ベトナム	7人	フィリピン	1人	
ネパール	人	日本	221人	

(5) 開催時間数(回数) 33 時間 (全11回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年6月14日(土) 13:00~16:00	3	札幌国際プラザ	16	中国(3)、台湾(2)、韓国(2)、日本(2)国籍不明(7)	留学生のための着物体験	着物着付けを楽しみ、お茶を飲みながらボランティアとやさしい日本語で会話を楽しむ。	池上美佐子(日本文化体験ボランティア)	その他日本文化体験ボランティア8名
2	平成26年7月13日(日) 13:00~15:30	2.5	札幌国際プラザ	69	日本(49)、中国(2)、タイ(1)、台湾(1)、国籍不明(16)	留学生とアフタヌーントーク	「行事と食べもの」をテーマに留学生の母国の話を聞きながら交流する。	ハン ジュン(韓国) グエン ティ リョウ(ベトナム) チェザル ニ コラエ(ルーマニア) ワン ディー(中国) ジェシカ ウォア(オーストラリア)	

3	平成26年7月19日(土) 13:00~15:00	2	狸小路商店街	16	中国(5)、スイス(3)、マレーシア(3)、インドネシア(2)、ロシア、フィリピン、ベトナム(1)	ゆかたを着て歩こう!	ゆかたの着付けをして、商店街を散策したり、盆踊りなどの日本文化をとおして地域住民と交流する。	外国語ボランティア14名	
4	平成26年8月21日(木) 13:30~15:00	1.5	白陽小学校	21	日本(17)、韓国、中国、タイ、国籍不明(1)	留学生とふれあいトーク	留学生による母国の紹介を聞きながら、交流する。	キム・ドミン(韓国) 張 強(中国) プーワナット・スパーブクル(タイ)	
5	平成26年10月12日(日) 10:00~16:00	6	リフレサッポロ	42	日本(39)、中国(2)、ロシア(1)	リフレ国際スポーツフェスティバル	世界5か国のスポーツを体験しながら、参加者同士で交流する。	菅原通有(札幌スポーツチャンバラ協会)、工藤清司(北海道スポーツ吹き矢協会)、他	
6	平成26年11月3日(月・祝) 13:30~16:00	2.5	リフレサッポロ	31	台湾(8)、中国(5)、マレーシア(3)、韓国(2)、スペイン(2)、ブラジル(2)、アイルランド、アメリカ、アルゼンチン、ザンビア、スリランカ、ニカラグア、日本、フランス、ボリビア(1)	JAPANカルチャーDAY	着物、茶道、折り紙体験をとおして、日本文化やそれにまつわる日本語を学ぶ。	池上美佐子(日本文化体験ボランティア)	その他、外国語ボランティア3名、日本文化体験ボランティア16名
7	平成26年11月16日(日) 13:30~15:30	2	リフレサッポロ	38	日本(21)、アメリカ(2)カナダ(2)、韓国(2)、台湾(2)、中国(2)、ブルキナファソ、イギリス、トルコ、ブラジル、フランス。ポルトガル、タイ、インドネシア、ケニア(1)	防災バスツアー2014 「避難所でも出来るセルフマッサージ」	いざというときは避難所でも出来る足のリンパマッサージを習いながら、参加者同士で教えあう。	高橋晴美(日本リラクゼーションフットケア協会)	
8	平成26年12月13日(土) 13:00~15:30	2.5	札幌国際プラザ	64	日本(50)、韓国(1)、中国(1)、国籍不明(12)	留学生とアフタヌーントーク	「生活と乗り物」をテーマに留学生の母国の話を聞きながら交流する。	シェーマス・リース(イギリス)、バク・ヨンシュン(韓国)、ガビル・アリエフ(アゼルバイジャン)、ウ・セイヘイ(中国)、サバル・ハルム(インドネシア)、アレクサンダー・パネキン(ロシア)	

9	平成26年12月20日(土) 10:00~16:00	6	北海道大学	43	中国(13)、日本(8)、オーストラリア(4)、ベトナム(4)、ミャンマー(4)、アメリカ(2)、ロシア(2)、イギリス、インド、エジプト、カザフスタン、台湾、フランス(1)	札幌圏大学国際フェスタ	日本文化の紹介と着付けの体験や留学生との交流のためのブース設置。	池上美佐子(日本文化体験ボランティア)	その他、日本文化体験ボランティア9名
10	平成27年1月10日(土) 11:00~14:00	3	リフレサッポロ	56	日本(32)、中国(12)、台湾(2)、アメリカ、アルゼンチン、韓国、パラグアイ、ブラジル、香港、マレーシア、ミャンマー、モザンビーク、国籍不明(1)	お正月をたのしもう!	福笑い、けん玉、かるたなどお正月遊びを体験し、楽しみながら日本語に親しむ。	池上美佐子(日本文化体験ボランティア)、長谷川純子、金田裕子(寒中見舞い講師)	その他、外国語ボランティア3名、日本文化体験ボランティア9名
11	平成27年2月28日(土) 13:30~15:30	2	札幌国際プラザ	60	日本(17)、インドネシア(12)、ミャンマー(5)、中国(4)、タイ(4)、台湾(3)、インド(2)、トルコ(2)、バン格拉デシュ(2)、ベトナム(2)、韓国、シンガポール、スウェーデン、ニカラグア、ネパール、香港、国籍不明(1)	ひな祭り	琴の演奏、南京玉すだれ、折り紙、日本茶飲み比べ、着付けなどをとおし、ひな祭り文化について知り、交流を楽しむ。	外国語ボランティア観光文化ユニット	日本文化体験ボランティア11名

(7) 参加者の募集方法

札幌市広報誌、英文情報誌、当財団ウェブサイト、多言語メールマガジン等で広く参加を呼びか

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

①ゆかたを着て歩こう!(7/19)

日本の夏を体験するイベントを実施した。参加者は、浴衣を着つけてもらい、ボランティアと一緒に狸小路商店街などを散歩した。皆で盆踊りを踊ったり、楽しい時間を過ごし、外国人が地域の人と会話の中での自然な日本語に触れる機会を設けた。また、商店街の人との交流を通し、日本の商店街ならではの雰囲気を感じ、古くからある店などに立ち寄りながら積極的に会話を楽しんでいた。

②避難所でも出来るセルフマッサージ(11/16)

防災シミュレーションゲームと組み合わせて開催した。午前中や昼食で交流を深めたグループの参加者同士で教えあう姿が見られた。また、かんたんな日本語とジェスチャーを交え、マッサージの効能などをお互いに確認し合っていた。

③ひな祭り(2/28)

南京玉すだれや日本茶の飲み比べ、着付けなどをとおし、外国人が日本文化と日本語に親しむことを目的として開催した。会場にはひな人形その他、野点傘やお琴なども用意され、ひなまつりの雰囲気を盛り上げ、講師や参加者は積極的に話しながら、日本文化についての理解を深めていた。



7/19 ゆかたを着て歩こう!



2/28 ひな祭り

(9) 取組の目標の達成状況・成果

日本文化やスポーツなど、気軽に体験し参加できるイベントを通じて、外国人が日本語や日本文化にまつわる言葉に親しみながら学んでいくことを目的とした。参加者からは、「日本文化を学ぶことができてうれしかった」、「日本語をもっと勉強しようと思った」といった感想の他、「参加者や地域の人とたくさん話せて楽しかった」といった声が寄せられた。どのイベントに関しても、日本語を実際に使う場を提供することで、より交流が深められた。

(10) 改善点について

日本文化やスポーツのイベントは、外国人にも日本人にもとても人気があるが、着物などの数が決まっていることもあり、多くの人に体験してもらうことが難しいところもある。また、スポーツなどの規模の大きいイベントを開催する際には、場所にも限りがあり、特に日本語が堪能ではない外国人にとってはアクセスが難しい場合もある。そのため、毎回違う参加者が多くみられ、継続した交流の機会にならず、1度で終わってしまうという課題もあるため、今後は誰もが参加できる催しを積極的に考えるほか、1年をとおして参加してもらえるような方法を検討する必要がある。

○取組5:シンポジウム～日本語で創ろう多文化共生コミュニティ～

(1) 体制整備に向けた取組の目標

取組の成果発表を通じて日本語教育の重要性を広く市民に伝え、多文化共生への理解を促す。

(2) 取組内容

札幌における外国人・多文化の背景を持つ市民への日本語教育の現状や課題について、講演や担い手によるパネルディスカッションを通じて広く周知する。地域の多文化共生をすすめるための根幹となる日本語教育について、現状や課題、重要性を広く伝え、理解を促す。

- ・当該事業取組の成果発表
- ・多様な担い手による連携事例紹介
- ・パネルディスカッション
- ・外国籍市民からの意見発表

(3) 対象者 札幌市在住の外国人、日本人

(4) 参加者の総数 79 人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	トルコ/日本 1人
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	78人	

(5) 開催時間数(回数) 3.5時間 (全1回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成27年2月11日(水・祝) 13:00～16:30	3.5時間	国際ホール	79名	日本人(78)、トルコ/日本(1)	シンポジウム「おとなりさんは外国人！？」～日本語でつくる多文化共生コミュニティ～	第1部では体験や経験談をおし、ことばがわからないと生活のどのような場面で苦労するのかを感じる。第2部のパネルディスカッションでは市内の各分野で多文化共生や日本語教育に携わっている人の話を聞きながら、グループごとに意見交換をする。	土井佳彦(多文化共生リソースセンター東海) 阿部仁美(北海道日本語教育ネットワーク) 瀬戸メラル(在住外国籍市民) 谷光(札幌子ども日本語クラブ 代表) 小泉詔信(北24条商店街振興組合 代表)	

(7) 参加者の募集方法

市内の小中学校、日本語学校、ボランティア団体、関連機関・団体への書面による通知のほか、札幌市広報誌、メールマガジン、当財団ウェブサイトでも広く参加を呼びかける。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

第1部では、グループワークでの体験や外国籍市民の経験談を聞くことを通して、参加者自身に日本語教育事業の重要性を理解してもらった。第2部では、札幌で実際に多文化共生のための活動や日本語教育事業を行っているパネリストの活動を紹介してもらい、参加者に札幌の多文化共生の現状や課題を共有してもらった。約80名の参加者には、日本語教育関係者、行政関係者のほか、仕事で外国人の対応をしている人も多く、様々な立場での意見交換が行われた。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

在住外国籍市民の体験談として、札幌の郊外に住む方にお話をいただいた。そのことで、外国人散在地域である札幌における課題が明らかになった。また、行政からの参加者も多かったほか、一般参加者も家族連れなどもみられ、幅広い人に日本語教育事業の現状や課題について知ってもらうことができた。また、シンポジウムのあとも、国際プラザや日本語教育に関する問い合わせや、周知のご協力のお申し出をいただいた。アンケートでも、「問題点と解決策をつなげて考えられた」「外国人が引越して来たら積極的に声をかけようと思った」など、札幌のまち全体で日本語教育について考えることができた。

(10) 改善点について

参加者からは「国際プラザがこのような取組をしていることを初めて知った」という声がいくつか聞こえた。日本語教育の取組だけでなく、外国人にも日本人にも、まず国際プラザ自体の存在を周知していく必要がある。また、日本語ボランティアと日本語を学習したい人のマッチングが出来ていない状況も明らかになった。担い手同士がさらなる連携を深めるよう、大学や地域を巻き込んで取り組んでいく必要がある。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

札幌市の外国人住民は市内に点在して居住しており、日本語が理解できない場合は地域で孤立することもある。子育てや災害時など、住民同士が言葉の壁を越えて助けあう多文化共生コミュニティをつくるためには、外国人だけでなく日本人に対しても日本語教育の重要性の理解を広げる必要がある。また、目的達成のために、幅広い担い手の連携が不可欠である。事業を通じて日本語を習得した外国人が、生き活きとした地域づくりの主体的な担い手となることを目指す。

(2) 事業目的の達成状況

運営委員会での振り返りでは、担い手同士で連携し課題を共有する機会を設けていること、外国人が日本語や地域の活動に参加する場を多く創出したこと、また一般の参加者の理解を深められたことについて評価された。また、日本語ボランティアだけでなく、行政のセミナーなどへの積極的な参加や商店街の活動をとりあげたことで、生活する場における多様な取組について知るとともに、まち全体で日本語教育事業に対して取り組む課題であるという意識を高めることができた。

今年度の取組全体を通して、日本人400人以上、外国人500人以上が事業に参加し、日本語学習だけでなく地域の住民と交流し、生活するコミュニティへの参画を促進できた。

次年度以降は、担い手と学習者のニーズへの対応や、日本語ボランティア同士の活発な連携、行政を巻き込んだ日本語教育への取り組みが期待される。

(3) 地域における事業の効果, 成果

札幌市では、外国人が散在している他、留学生が多くを占める。留学生は独自のコミュニティを形成する傾向にあるが、それ以外の外国人に関しては日本語が理解できないことを理由に孤立化する人について、現状を把握しにくいことが課題となっている。

取組2～4では、多くの外国人が気軽に地域のイベントに参加し、普段から顔の見える関係を構築するきっかけづくりをすることができた。また、同じまちに住み、日本語という同じ課題を抱える外国人住民同士の交流を促進し、新しいつながりを見つけていくことにつながった。取組1や5では、担い手同士が情報交換をしながら、多様な課題に対する解決をともに考えることができ、札幌全体の日本語教育への取組の向上を図ることができた。

広義としての「担い手」には、地域の一般の住民も含まれることを改めて理解してもらう機会を提供できた。孤立化してしまう外国人に対し、同じ地域に住む住民同士が普段から助け合い、行政や大学などの各機関・団体が一体となって取り組むことの重要性を伝えることができた。

(4) 改善点, 今後の課題について

i 現状

セミナーやワークショップを通じて、情報交換や課題共有の場を設けることで、担い手同士の横の繋がりを深めることは徐々に進んでいるが、団体同士の「連携」についてはまだまだ消極的である。また行政の積極的な支援を期待する声も多く、札幌市全体としてさらに協力していく必要があるとともに、外国人のニーズに対応できる環境を作っていくことが重要である。

ii 今後の課題

札幌市では今後留学生が増える見込みであるため、留学生だけでなくその配偶者や子どもにも関係する課題が増加することが予想され、行政だけでなく大学や関係機関とのさらなる連携が必要になる。また、留学生以外の外国人が比較的散在して居住している札幌市で、言葉がわからないことを背景に孤立化している外国人の現状について把握する必要がある。そのためには、積極的に当財団を訪れてもらう機会を増やしたり、地域における多様な取り組み自体を知ってもらうための方法を改めて検討し、担い手同士が協力して解決に向けた連携体制をとることが求められる。

iii 今後の活動予定

担い手同士が学びながら情報共有し、札幌全体の日本語教育の力を高めるため、セミナーなどの開催は継続的に行っていきたい。また、各日本語ボランティアの現状を把握し相互に協力していくために連絡を密にするほか、新しい担い手を確保するための取組も検討していく。

(5) その他参考資料

別添 参加者アンケート

参加者アンケートまとめ

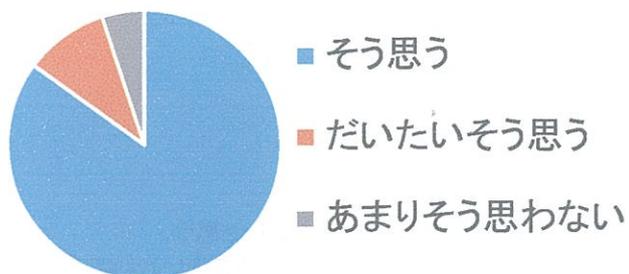
(公財) 札幌国際プラザ

実施日	事業名	取組
10月19日	地域日本語教育パワーアップセミナー①	取組1
11月22日	地域日本語教育パワーアップセミナー②	取組1
12月21日	地域日本語教育パワーアップセミナー③	取組1
10月24日	レッツトーク日本語スペシャル	取組2
11月9日	母子保健セミナー	取組2
9月1日	防災ツアー2014	取組3
11月16日	防災バスツアー2014 避難シミュレーションゲーム&セルフマッサージ	取組3 取組4
7月13日	留学生とアフタヌーントーク	取組4
11月3日	JAPAN カルチャーDAY	取組4
12月13日	留学生とアフタヌーントーク	取組4
1月10日	お正月を楽しもう	取組4
2月28日	ひな祭り	取組4
H27年2月11日	多文化共生シンポジウム	取組5

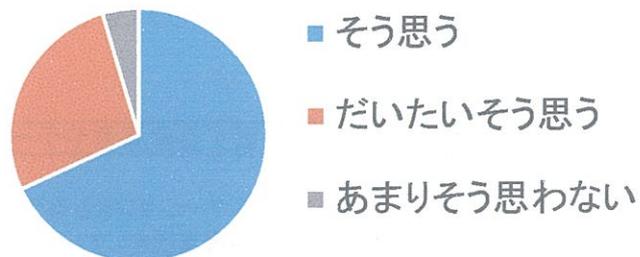
※アンケートを実施し、回答が得られた事業のみ。

地域日本語教育パワーアップセミナー～地域社会とともに作る日本語学習環境～
第1回「多文化共生と日本語教育」参加者アンケート(平成26年10月19日開催)

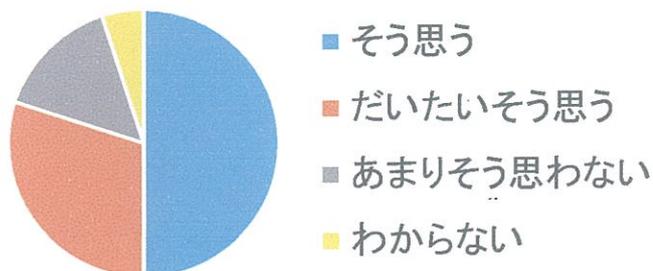
1. 有意義な講演内容であった



2. 近年の日本語教育事業について
関心が高まったり、新たな発見があった



3. 他団体との情報交換がよく出来た



□ 講演・意見交換についての感想

- ・日本語教育を実施している方の貴重なお話を聞いて、とても勉強になった。
 - ・土井先生の基本をしっかりと考える、というお話で、「日本語の勉強」以上に重要という感を強くした。
 - ・初めての参加で勉強になりました。まず現状を把握することができました。
 - ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
 - ・他の日本語ボランティア団体の困っていることを聞き、それをどう解釈するのか、皆で話し合うことが出来て良かった。自分のボランティアグループも同じような問題がある。
 - ・ボランティア活動全般(日本語教育のみでなく)についていろいろ勉強になりました。
 - ・とても興味深い講演でした
 - ・共通の問題を皆で議論できたことがよかった。
 - ・土井先生の持つ情報、アイデアを具体的に示して下さったことが今後の活動の参考になると思います。
 - ・自分のボランティア活動について考えるいい機会になりました。助成金、探してみます！
 - ・ボランティアによる日本語教育の概要が理解できた。
 - ・大変面白い関心が持てるテーマでした。
 - ・プラザに常設の「日本語学習場所」の設置を！に私も要望します。
 - ・日本の言語学習制度について無策なことがよくわかりました。
- 全国各地・札幌市でいろいろな民間のボランティア活動をしていることに感銘しました。
- ・各国の言語学習制度、一覧表など参考になることが多かった。特に問題解決方法のヒントなどすごく役立ちました。
 - ・在日外国人が持つ日本語の問題について知ることが出来良かったです
 - ・日本語クラブのことがよくわかりました。
 - ・3時間ですが、あっという間で大変有意義な時間でした。2年前も参加しましたが、前回よりも内容はアップしていたと思いました。
 - ・文化庁は、国際協会などの事業に助成金を出すのではなくて、各日本語ボランティアも支援すればよいのではないかと思います。

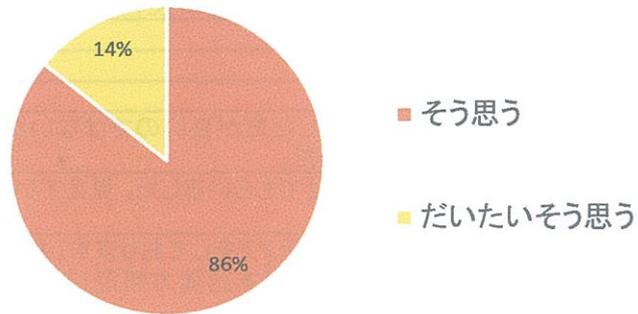
- ・日曜日の開催について、場所の問題もあるが、家庭を預かる女性としては難しいのではないか
 - ・地域のボランティア教室が抱える問題点を知ることができて勉強になりました。色々な企業・団体が連携できるような仕組みをつくることができれば良いなと感じました。
 - ・多文化共生の考え方を学ぶものと思っておりましたが、実際のボランティアの報告と解決の方法を学ぶことができ、大変勉強になりました。
 - ・これまで日本語学校で日本語教育に携わってきましたが、学習者の背景も多様化しており、この変化にどう対応していくか日々悩んでいます。また、ボランティアでは教えたことがないため、ボランティア教室の状況がわからなかったので、本日ヒントをたくさんいただくことができました。
- 今後の日本語学校のできることをパワーアップできそうです。貴重なお話ありがとうございました。

□今後期待する取組、希望する講演者やテーマについての意見・感想

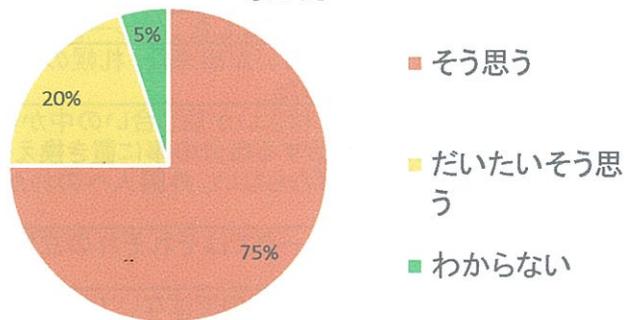
- ・国ごとの文化の違いによって、コミュニケーションをとるうえで注意すべきことを学べる機会があると良いと思う
 - ・宮城県仙台市で外国人児童生徒の学習支援をいらっしゃる田所季衣子(たどころきえこ)さんのお話を伺いたいです。特に東日本大震災からの復興支援に教育現場で外国人の立場に立って取り組まれたと伺っていますが、貴重な活動実践を伺いたいです。
- MIA(宮城国際交流協会)等に問い合わせればわかると思います
- ・多文化共生の中で、特に今対面している重要項目について、各論的なセミナーも必要かと思います。
 - ・異文化コミュニケーション
 - ・「非日本語話者のための日本語指導について」をテーマに講演を聞きたいです。特に敬語・絶対敬語

地域日本語教育パワーアップセミナー第2回
『多様化する日本語学習者が抱える問題と対応』アンケート

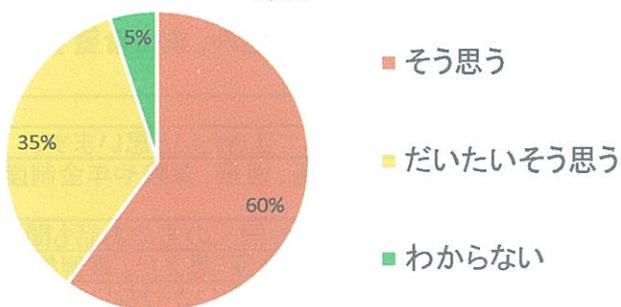
1. 有意義な講演内容であった



2. 日本語学習者が抱える問題について関心が高まった



3. グループワークを通して、日本語学習者が抱える問題にどう対応したら良いか、新たな視点で考えることが出来た



・本日の講演・グループワークについてのご感想や新たな発見があればお聞かせ下さい。

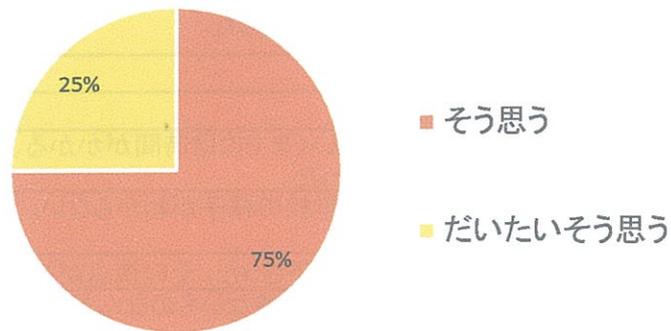
問題に対して具体的にどう取り組むべきかを理解できました。
各グループの問題の視点の付け方が違い、考えなければならないことが沢山ある事を学びました。生活する方の安全を支援することの大切さを学びました。支援するにあたり、どんな情報を得てどのような判断をしなければならないのか、やっちはいけない事やらなければいけない事、引き出しが沢山出来ましたが中は空っぽ状態です。また今回の様なセミナーに参加し少しずつ便利な引き出しにしたいと思いました。
大変新しい「視点」を得ることが出来て参考になりました。
内容が深く参考になりました。
大変有意義な研修ありがとうございました。
グループワークでのチーム編成や話し合い方を指定した方が良いのではないかと。本日の講演では、違った視点で見ることが出来たので、とても有意義であった。
外国人の立場になって支援していく必要性を勉強させてもらいました。見えていないものをあぶり出すという事の重要さ難しさを思い知りました。
私は現在週1~2回の4~6時間程度の日本語ボランティアをしております。従って「こんな時どう対応する？」の1. 2. 3について日頃直面しない問題でした。「日本語能力判定」と「国籍による学習時間の違い」の資料、良かったです。
色々な職業、団体の方と意見交換が出来て皆さんからの体験談も聞くことができ、とても参考になりました。山本先生のお話も、とても勉強になりました。ありがとうございました。
色々な問題事例に接して、実際、疑似体験をしたようです。ありがとうございました。
もっと学びたいです。いろんな事例を知り、深めていきたいです。
グループワークで具体的なことができたが、国際プラザやボランティアでしていることもたくさんあった。
いろんな考え方がある事を学べて良かったです。
幅広く、色々なお話をしてくださいまして、ありがとうございました。グループワークも楽しく情報交換ができグループワークはなかなか難しいが、まずまずの話し合いが出来た。札幌の特殊性もあるが、今のところあまり困ることは少ない。各自の経験をもとに話し合った。
様々な問題が起きる日日本語活者の対応をどうすればよいか話し合いの中から解決用法や対策を知ることができた。共生している私たち日本人は海外で生活する自分の事に置き換えて理解することが必要。その時に活かすわかりやすい日本語を意識しなければならない。外国人へのわかりやすい日本語の学習を日本人には必要と思った。
私事の理由で講演が聞けなく残念でした。グループワークではそれぞれの立場での意見が聞けて良かったです。
問題を提起することで全体の討議が出来たことが良かったのではないのでしょうか？日本のルールの説明を定期的に情報として提供することが必要です。(日本人も各県に転勤することで地域習慣が違うので悩み身近な話題を考えることができて良かった。同じグループの方が、色々な経験をおもち(会社のトップとして各国、イスラム、欧米圏へ行き、その国の文化等を知り、仕事をすすめた)で、その方の話がおもしろく、こういう方のリソースが生かされれば良いなあと思った。
日本語教育には直接かかわっていませんが、外国人受け入れの諸問題を具体的に知って参考になりました。多国籍住民のこまりごとについての対応について参考になりました。

・本日の事業全体についての感想、今後期待する取り組み、また希望する講演者やテーマなどについて、ご意見ご感想をお願いします。

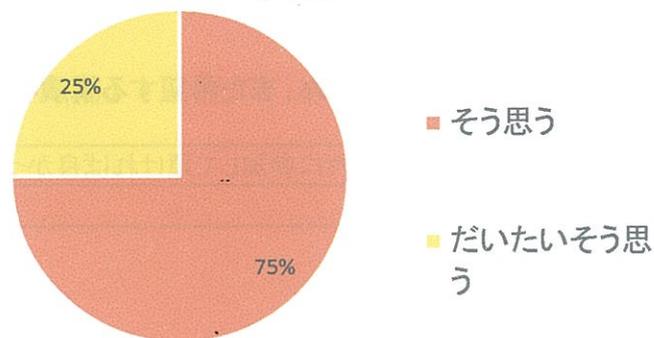
また、山本先生の話を知りたいです。
どのように日本語を教えるかについての内容で講演して頂きたいと思っております。
外国人にとって必要な日本での社会ルール、法律関係、医療、保険や年金制度などを含め知っておきたい。(付き合う時に必要な知識です)
今後もセミナーを続けてほしいです。また、実際に在日外国人の方のお話も聞きたいです。
外国人の多様な問題と向き合っている方の話は大変興味深く思えた。事例集の若者の名前は？
日頃知らないことが知れて良かった。異文化交流の場では思いがけないことが多々ありますが、それに対してどう考えるか、ヒントが得られた点もあった。
ほんとうに色々な意見が集まるので、実際にどう実現していくかのセミナーがあるといいかな……

地域日本語教育パワーアップセミナー第3回
『日本語教育政策から考える札幌のまちづくり』アンケート

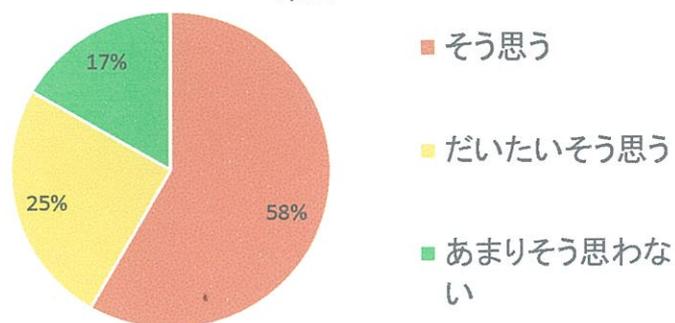
1. 有意義な講演内容であった



2. 日本語学習者が抱える問題について関心が高まった



3. グループワークを通して、日本語学習者が抱える問題にどう対応したら良いか、新たな視点で考えることが出来た



・本日の講演・グループワークについてのご感想や新たな発見があればお聞かせ下さい。

・国際プラザの方が直接話を聞いてくれたことがありがたかったです。
・プラザの英語ボランティアとして参加したが、幅広い分野の知識を身に付けることができました。グループ討議の時、札幌市の現状について情報が無くこちらも札幌のことを知っていきたいと思いました。
・とても勉強になりました。バイリンガル教育の奥深さを再認識しました。
・意見交換の時間がもう少しあると良かったかなと思います。
・講演が長くて、グループワークの時間が少なかった。
・いろいろなことを考えてやっても法律など制度としてやっていくまでには時間がかかる、でも辛抱強くやっていくことの必要性と方向がわかってよかった。
・ろう教育が日本語対応なのかと改めて思った。最近のろう学校の様子がわからない。日本語手話で勉強できる大学などあるのか？
・母語と日本語習得時の背景、ろう者の言語のことなど話して下さった。その視点がとても有意義でした。
・子どもたちへの支援については問題点が多く、簡単には解決できないものなんだと感じました。色々考えるいい機会になりました。
・子どもの人生を考えてどう言葉の教育をするか考えさせられました。
・日本の英語教育の在り方についてもどう考えるべきか。
・母語教育とろう者教育との共通点、バックグラウンドとなる支店や数多くの事例、情報…たくさんの貴重なお話を伺え、本当に感謝しています。今後の日々の活動(日本語支援)に必ず役立たせたいと改めて思い
・バイリンガルの意義、考える機会を得ました。ここまで深く考えたことはなかったと思います。再び資料を読み返します。

・本日の事業全体についての感想、今後期待する取り組み、また希望する講演者やテーマなどについて、ご意見ご感想をお願いします。

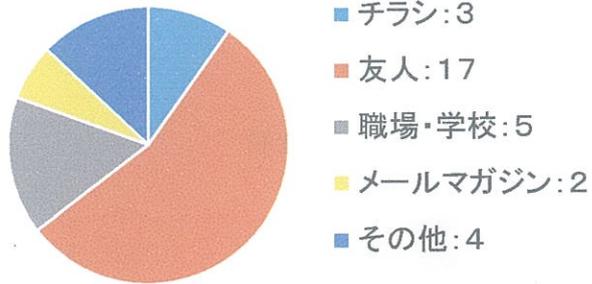
・もう少し教育委員会等々、職業で教育に携わっている方々に参加して頂ければ良かったと思います。
・先生ご推薦の築樋さんのお話を聞きたいと思った

レッツトーク日本語スペシャル アンケート (2014. 10. 24)

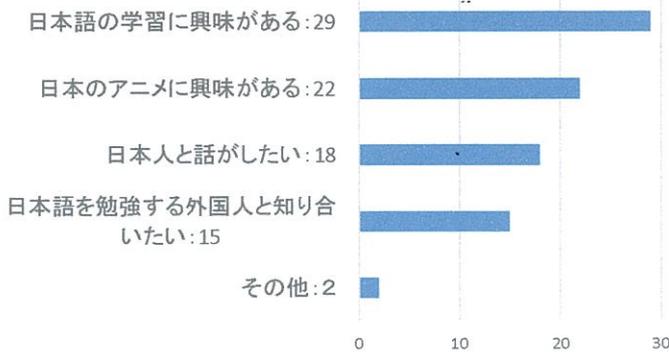
Q1. 国籍

国籍	人数
ノルウェー	9
香港	3
台湾	3
タイ	2
スペイン	2
フランス	1
ネパール	1
ウイグル自治区	1
カナダ	1
マレーシア	1
イタリア	1
中国	1
スウェーデン	1
ジャマイカ	1
メキシコ	1
米国	1
韓国	1
計	31

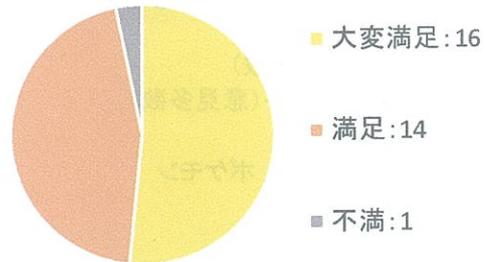
Q2. イベントはどこで知ったか



Q3. イベントに参加した目的は？(複数回答可)



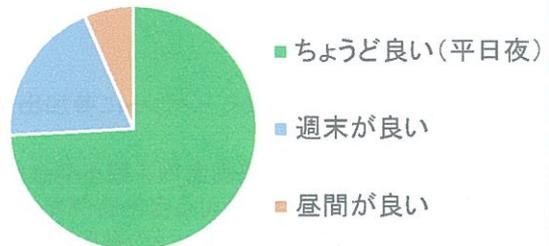
Q4. イベントに参加した感想は？



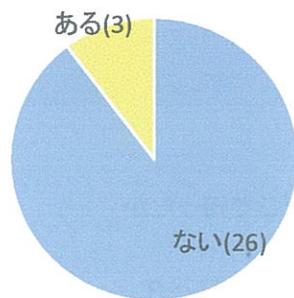
Q5. 不満であった理由

・映画を観るのがよかったです、ロールプレイに対しては特に興味を持たず、私にとってちょっと分かりにくかったです。ほかの種類のアクティビティーならもっと興味を持つかもしれません。

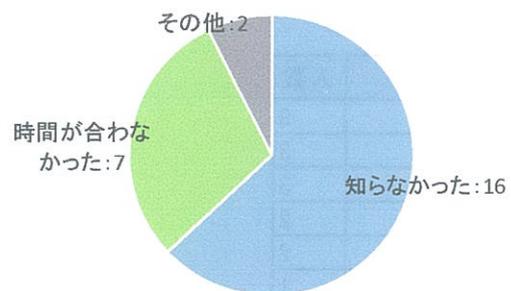
Q6. イベントを開催した日、時間帯はどうだったか



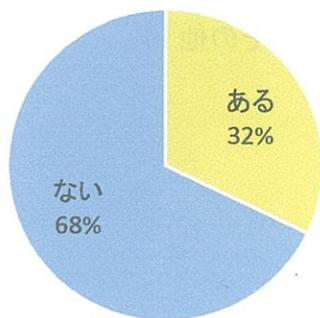
Q7. レットーク日本語に参加したことがあるか



Q8. レットーク日本語に参加したことがない理由



Q9. いままで国際プラザ交流サロンを利用したことがあるか



Q10. 他にどのようなイベントがあったら参加したいか

- ・他のアニメ(意見多数)
- ・日本文化のイベント(意見多数)
- ・日本の食べ物
- ・ゲーム(意見多数)、ポケモン
- ・ドラマのイベント
- ・声優
- ・アート
- ・日本人に会うイベント、日本人と会話
- ・着物
- ・アウトドア

Q11. その他 感想、意見

- ・すごくおもしろいです
- ・事前申し込みをしなかったが、イベントに参加出来てとても嬉しかった。
- ・字幕は日本語が良い
- ・イベントが終わったら一回映画全部を観る機会があればよかったですと思います。
- ・グループのほかの人と話し合える自由時間があればよいかもしれません。
- ・レットーク日本語の開催セッションの数を増やすことは可能ですか？
- ・とても楽しくて面白いイベントでした。ほかの参加者の皆より日本語は上手ではないのに、レッスンについていけました。ありがとうございました！
- ・たのしかったです。もっと参加したいです。

H26 年度母子保健セミナーアンケート集計

当日参加者 9 組 (14 名) うち 6 組より回答

1. あなたの国籍を教えてください。
フィリピン (2 組) ブルキナファソ アメリカ スペイン アイルランド キューバ
2. あなたが十分に理解し話せる言語は何ですか? (複数回答有)
英語 (7 組) 日本語少々 (2 組) フランス語 スペイン語 (2 組) タガログ語
セブアノ語
3. セミナーのことはどこで知りましたか? (複数回答有)
 - ① プラザホームページ …1 組
 - ② チラシ…0 組
 - ③ 友人から…1 組
 - ④ SEMI から…3 組
 - ⑤ メールマガジン…2 組
 - ⑥ その他…2 組 (Hokkaido Insider、プラザボランティア)
4. これまで、(公財)札幌国際プラザの 3 F 交流サロンを利用したことがありますか。
 - ① ある…5 組 (2012 母子保健セミナー、イベント)
 - ② ない…1 組
5. 本日のセミナーに参加された目的は何ですか? (複数回答可)
 - ① 子育て全般に興味があるため…6 組
 - ② 子供の保健に興味があるため…5 組
 - ③ 保育などの情報に興味があるため…5 組
 - ④ 子育てをする他の親と知り合いたかったから…2 組
 - ⑤ その他…家族が札幌に来るから
6. 参加されての感想・意見をお聞かせください。
 - ・有益な情報を得ることができた。現在妊娠中で、もう少しで初めて母親になるので参加できてよかった。
(Today's seminar is a good information, especially for me. Because I am a first time expectant mom soon. It helps a lot.)
 - ・とてもためになるセミナーでした。ありがとうございます。
 - ・とてもやくにたっておもしろい。ありがとうございます。
 - ・役立つ内容でした。保育支援があることは、本当にありがたいです。
(It was very helpful program. I really appreciated that childcare was provided.)
 - ・とても有益なセミナーをありがとうございました。いただいた資料は家に帰ってからの復習などに役立てたいと思います。
(Thank you very much. I found the seminar very informative and the additional manuals will help to understand much more, when back at home.)

- ・このようなセミナーを開催してくれてありがとうございます。。在札外国人にとっても有益な内容でした。

(Thank you so much for organizing this seminar. It's very informative, especially foreigners living in Sapporo.)

7. 他にどのようなイベントやセミナーがあれば参加したいですか？

- ・親たちで交流ができ、各専門家の方と個別に話せるようなセミナーがあれば参加したい。

(I would like to attend a seminar where we could circulate and speak with various experts individually.)

- ・食べ物や衣服など子供を日本で育てるときの文化的なことを知りたい。子どもとの接し方で、自国では普通であっても日本ではおかしい、間違っていると思われることもある。日本文化をもっと理解したい。

(I would like to learn about the cultural aspects of raising children in Japan. (food, clothing, etc.) The things that I do with my child that are "normal" and acceptable in my country are sometimes seen as strange, weird, wrong by others in Japan. I would like to understand the culture more.)

- ・来年4月の保育所入所の申請手順について。必要書類やうまく入所手続きを進めるコツなど、はっきりとした情報がもらえたらうれしい。

(Application procedure of the daycare services for next April: for example it would be good if we can have clear information about the required documents and tips for a good application.)

- ・ほいくえん

平成 26 年 9 月 1 日 (月)

「札幌国際プラザ防災ツアー2014」 参加者への聞き取り調査・意見交換

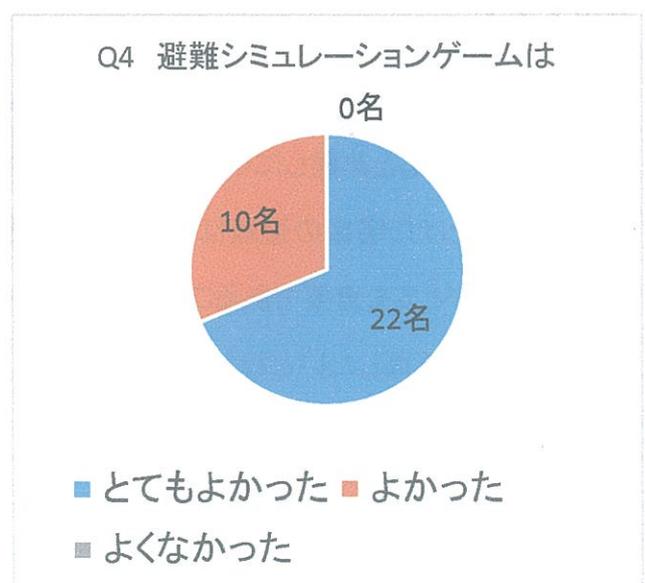
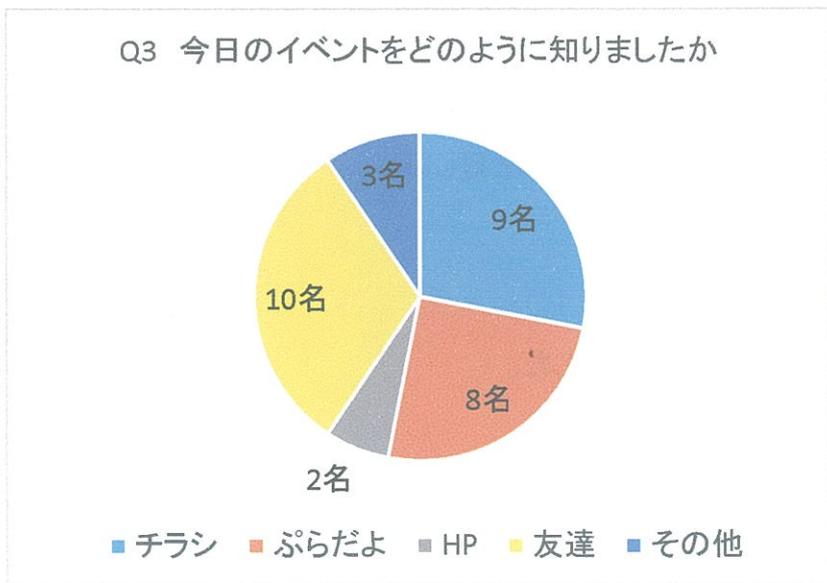
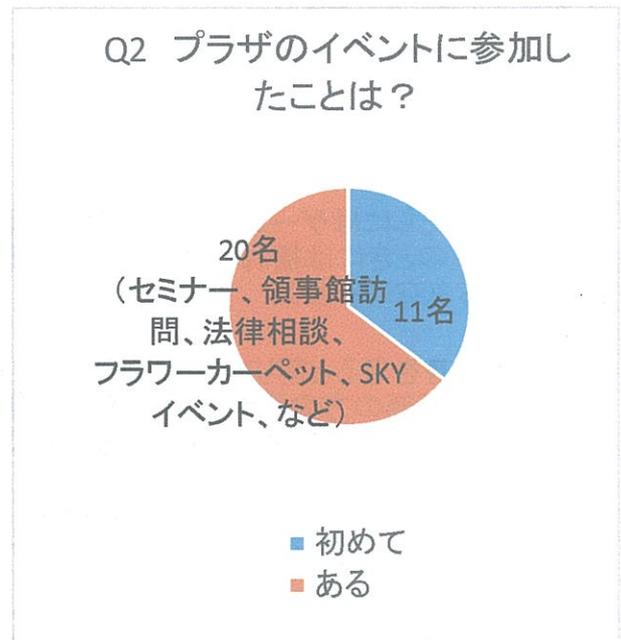
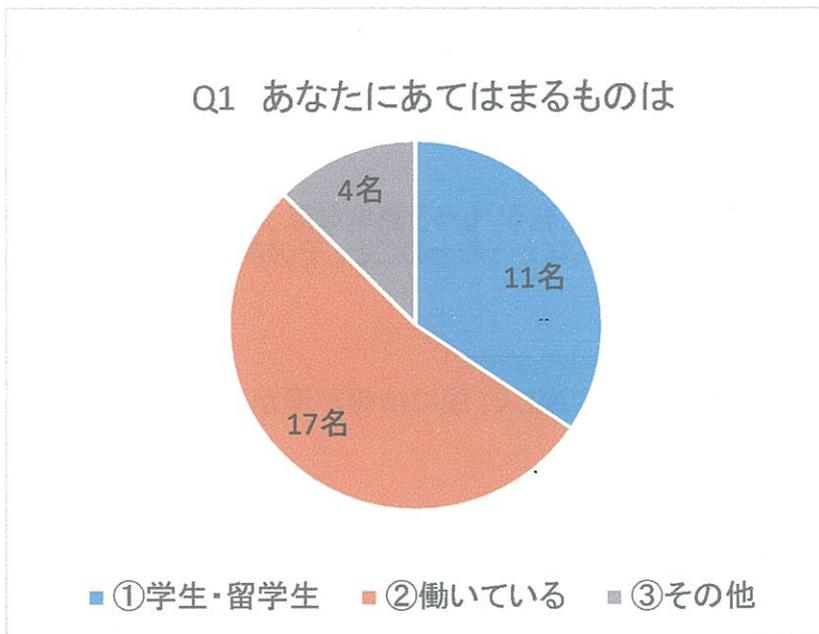
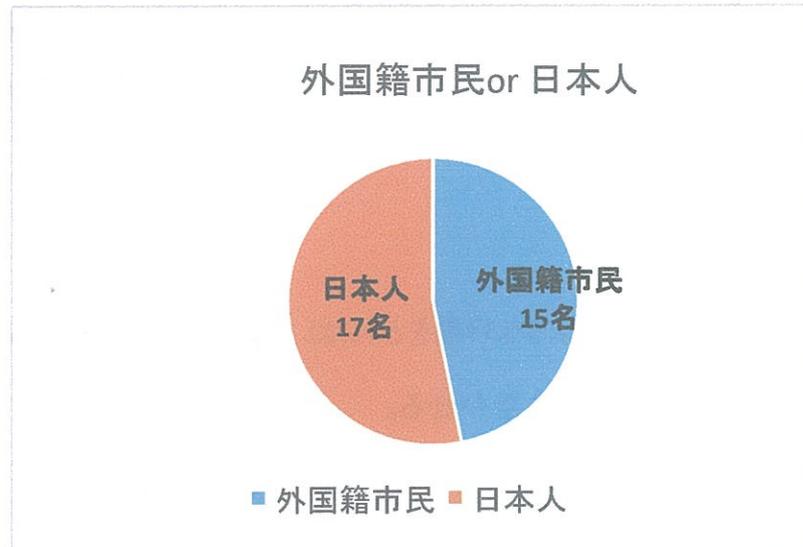
Q防災ツアーに参加して・・・

- 緊急地震速報が鳴ったらどのように動いていいのかわからなかったが、頭を守る、火を消すなどの必要な知識が身に着いた。
- 地震体験の車（起震車）が興味深かった。
- 避難所の様子がわかった。配給を高校生がしたり、たくさんの組織と一緒に訓練をしていて素晴らしい取組だと思った。参加してよかった。
- ルールや配給の時間が多言語で書いてあるシートは、英語や中国語以外の言語の人でもたくさんいるので、やさしい日本語が書いてあってありがたいと思う。
- 地元の学生と一緒に食べ物を配る訓練は、交流できていい経験だった。

Q新しく知った、災害のときに使う日本語はありますか？

- 「171」災害伝言ダイヤルの存在を知った。
- 「バケツリレー」という言葉を知らなかった。地域の人と一緒にやって楽しかった。
- 「お薬手帳」におどろいた。
- 「避難所マップ」はわかりにくい。

防災バスツアー2014 アンケート (2014. 11. 16)



Q5 避難シミュレーションゲームを通してわかったこと、発見

短時間で避難しなければいけないとき、最善の選択をするのが難しいと気づいた。

やくにたちました。しかしチラシでは津波の避難でしたが、あまり津波の話がなくて残念でした。プレゼンテーションが本当によかったのですが、関西弁は難しかったです。

自分から！

目が見えなくて困難だった。

もっと準備が必要だということ。どのような行動をとればいいのかをやる必要がある。

話しかけ続けることは、ほかの人を落ち着かせる。

訓練は絶対に必要だと思った。言葉がわかりづらかったので、相手に伝わるように話すことが重要だと思った。

体験してみることが重要。

ゲームで避難を体験できるのがいい。小さなことでも声を掛け合うことで、お互いの不安を小さくすることができること。新発見。

とても共同作業で楽しかった。

外国人の人たちにはゲームの前の口頭での説明はつまらなかったと思う。もっと簡単なほうがいい。阪神大震災のときには揺れが大きくて何が最初起きているかわからなかったとのこと。そのあとの避難というのは冷静になれないと思う。

まずは我が身を守ると割り切ることと教わり、ためになった。避難の際の講師の方の説明、区長がとても簡潔でわかりやすくかつ楽しく、頭に情報が浮かんできた。今後も今回の講師の方が担当してくださればいいと感じた。

結構息が切れるというか周りがみえなくなる。

避難のシミュレーションは何度やってもやりすぎではない位、真剣にやるべきことだと思った。

ゲームは体験してみないとわからないことでした。

ひとりで逃げることのむずかしさ(怪我した場合、人を助ける場合など)を感じた、結果的に人を見捨てて逃げられるか???

でもきっと逃げると思うけど・・・。

現実の大変さを想像していたものより身近に、より鮮明に感じられる体験ができたと思う。

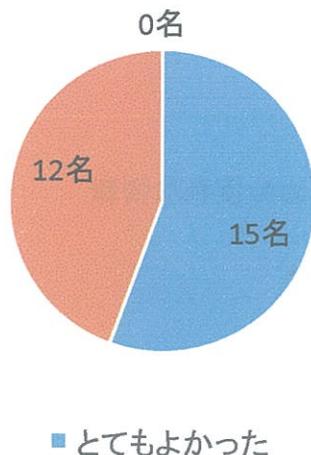
障害を持っていると非難しにくい。助け合いということについて(深く考えると難しい)

体に損傷を受けた場合の避難は大変なことだと痛感した。

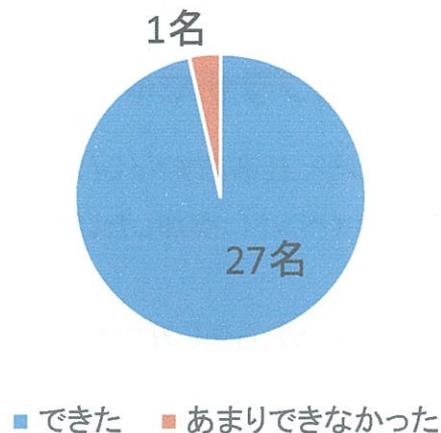
声での伝達がとても重要であること。自分の命は自分で守る！

実際に災害に直面したいとわからないことがたくさんありそうと思いました。

Q6 マッサージレッスンは



Q7 たくさんの人と話すことが出来ましたか



Q8 今日の感想を聞かせて下さい。

とても感謝しているが、12時半に帰らなくてはいけないので、午後のマッサージ講習には出られません。

とてもよかったです。いい運動になりました。

とてもよかったです。次のイベントも参加します！)

普段わからないことがわかるようになってよかったです。

最初の講義は、何人かの外国人にとっては難しい

誘ってもらえてよかったです。新しい友達もできてよかったです。

面白いです。ほかの国の友達も作りました。

とてもフレンドリーで、ボランティアは素晴らしい。なにかあれば今後もこのようなイベントに参加したい。

今日はいろいろな国の人と話すことができたし、災害時とのおよびに行動すればいいかを分かるよつになつて面白かったです。

楽しかったです。避難のことについてもっと知りたいです。

人と会うのにとってもいい方法。日本語のレッスンがにほんごだった！だからわからなかった。

日本語のレッスンは英語か英語翻訳ありでやるべき。

とてもよかったです。もし参加者が今回のことについて話せば、イベントがもっと広まる。

すばらしかった！とても好きです！今後もっと手伝いたい。

手足が冷えた。もっと実践の時間を充実してほしいです(マッサージ)。非常に重要なイベントだった。

参加者の意識が高く、いろいろな考えを吸収できた。

前半と後半が違ったのがおもしろかったです。

外国の人と交流できてよかったです。

お昼の取の時間にコミュニケーションを別の参加者ととっていたので、1時間30分くらいお昼の時間をとつてもいいと思う。

日本語の説明が長くて外国の方が退屈そうにしていた。

時間の長いのは少々きつかったですが、避難シミュレーションゲームはいい経験でした。

また、講義も神戸震災はリアリティあって学ぶことが多かったです。自助70%、共助20%は目にうろこでした。

また参加したい。とてもためになる経験でした。

いろいろ勉強できてよかったです。室内寒すぎた。

外国籍市民の人やもちろん市民の方々とも初めての人でも一緒に取り組むうちに親しくなれたことがよかったです。

外国の方は日本語の説明やプリントがわからないと思うので、その都度通訳してあげたほうがよかったと思います。

わからない日本語を1日中聞いているのはつらいと思いました。

普段の生活では経験できないことが体験でき、また各国の人とお話が出来て有意義な1日でした。

改めて防災の意識を確認できました。

Q9 これから国際プラザでやってほしいイベント

日本語のエクステンジ、仕事のアドバイス、日本とくに札幌で生活するための便利な情報

日本文化についてのイベントに参加したいです！！

カーリング

料理作りのイベントがあったら楽しみです！

運動会

このようなイベント！

留学生のためのイベントとか

スキー、スケート、ホッケーゲームとかに行こう！ハハ！あとはボランティアコミュニティのイベント。

たくさん！

スキーなどの冬のスポーツ

室内のスポーツ、軽めのストレッチなどいいかも

このような防災関連は参考になってよいです。

今日のとても楽しかったです。外国人と話しやすい雰囲気でもよかった。

剣道など日本百采のスポーツ、各国の料理を嘗う会、外国人と交流できるような1日ツアー（滝野、かんじきウォークなど）

カーリング

その国の紹介、授業等、写真を多用したプログラムを望みます。

留学生とアフターヌーントーク

アンケート調査報告

主催：札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク 多文化とつながるユニット SKY

共催：(公益財団法人) 札幌国際プラザ

日時：2014年7月13日(日) 12:30 受付開始 1:00-3:30

会場：札幌国際プラザ 3F サロンにて

テーマ：「行事と食べ物」

アンケート調査の結果

Q1 回答者の属性 (回答者数52)

a.	留学生	19
b.	留学生の家族	0
c.	市民	21
d.	日本人学生	11
e.	その他	1
	合計	52

Q2 今回のセミナーを知ったきっかけ (複数回答あり)

	質問事項	日本人	留学生	合計
a.	学校の先生	2	13	15
b.	友人・知人	6	2	8
c.	広報さっぽろ	7	3	10
d.	新聞	1	0	1
e.	プラザだより	8	2	10
f.	ポスター・チラシ 国際プラザ 5、区民センター、 その他の場所 (学校の掲示版)	7	1	1
g.	その他 (インターネットなど)	4	0	0

注) 一般市民の場合、広報さっぽろ (6)、プラザだより (5) が多く、日本人学生は友人・知人 (4) が多かった。

留学生は大半が先生からで広報さっぽろも3名いた。

Q3 今回のセミナーへの参加理由 (複数回答あり)

	質問項目	日本人	留学生	合計
a.	内容に興味があった	18	8	26
b.	留学生の話に関心があった	22	7	29
c.	市民との対話をしたかった	4	8	12
d.	その他() 参加しました	0	0	0

Q 4 今回のセミナーに対する満足度 (回答者数 66)

	質問項目	日本人	外国人	合計
a.	とても良かった	20	13	33
b.	良かった	13	6	19
c.	良くなかった	0	0	0
d.	不満足	0	0	0
	合計	33	19	52

*その他の感想や希望など

<留学生>

感想

・とても面白かった、感謝 6名

(理由: 市民と話せてよかった、色々な国の留学生と日本人と話せてよかった、日本の色々なことが分かって良かった)

- ・日本と自分の国の文化の違いを知れて楽しかった。
- ・自分の言いたいことがうまくいえず悔しかったので、今度はもっと日本語を勉強してから参加したい。
- ・人数が多くて、少ししか話せなかった。
- ・たくさんの人と交流するのは、とてもいいと思う。同じくらいの年の人ともっと話したい。
- ・このようなイベントがもっとあればうれしいです。
- ・初めて参加したけど、とても楽しかった。また来たい。友だちをたくさん作りたい。

希望

- ・これからもこのような異文化交流に参加したい 4名
(日本人と話す、異文化理解、交流)
- ・日本の伝統行事の紹介、伝統文化の体験(茶道、華道、着付けなど) 2名
- ・一緒に登山、旅行、散歩、面白い所に行く 2名
- ・北海道の旅行について紹介
- ・ホームステイ
- ・会食
- ・一緒に歌を歌う
- ・日本の現状を紹介(就職活動など)

- ・世界料理交流

<市民>

日本人学生から

感想

- ・とても楽しかった 4名
(留学生と話せて、グループトーク出来て、知らない中国の文化を知れて)
- ・実際に紹介された料理を食べたい
- ・欧米の方にしか興味が無かったが、アジアや東ヨーロッパにも視野を向けたい

希望

- ・この会に感謝、また参加したい 2名
- ・留学生との交流 (スポーツを通して、イベントする) 2名
- ・夏休み中のイベント
- ・市内の大学の交流・

一般市民から

感想

- ・大変楽しかった、感謝 12名
(留学生の日本語が上手で、国際交流の機会が普段ないので、貴重な体験、色々な話が出来て、発表者以外の留学生ともたくさん話せた、料理や文化が知れて、)
- ・また参加したい
- ・お茶とお菓子もご馳走さま
- ・他の国の人の話を聞きたかった (留学生の入れ替えが無かった)
- ・発表者全員と話したかった

平成26年11月3日（祝）実施

Japan カルチャーDAY

会場；JICA 北海道、リフレサッポロ

参加者からのコメント聞き取り

Q；着物の体験について

- ・以前に浴衣は着たことがあったが、着物は初めてだったので、すごく楽しみで、実際に着ることができてとても嬉しかった。（女性）
- ・昔の日本人は帯などを締めて大変だったんだろうなと思った。（女性）
- ・着物を着て刀を持って写真を撮って、「サムライ」の体験ができて嬉しい。母国の家族にも写真を送ろうと思っている。（男性）
- ・ボランティアの女性と仲良くなって、親戚のように「おばちゃん」と呼んでいろいろなことを教えてもらった。

Q；お茶の体験について

- ・すばらしい和室でお茶を飲んで、とても良い経験になった。（女性）
- ・お菓子とお茶の組み合わせが良かった。（女性）
- ・着物を着て座るのが少し大変だった。（女性）
- ・初めてお茶を飲んだが、とてもおいしく飲むことができた。（女性）

Q；折紙の体験について

- ・簡単なものはやったことがあったが、折紙を3枚使って折るコマが面白かった。（女性）
- ・ボランティアの女性が丁寧に教えてくれたので、わかりやすかった。（男性）

Q；リフレサッポロの見学について

- ・このような施設を無料（※留学生のみ）で使えることは知らなかったなので、機会があれば利用してみたい。（女性）
- ・スタッフの人が親切だった。（女性）

留学生とアフターヌーントーク

アンケート調査報告

主催：札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク 多文化とつながるユニットSKY

共催：(公益財団法人) 札幌国際プラザ

日時：2014年12月13日(土) 12:30受付開始 1:00-3:30

会場：札幌国際プラザ 3Fサロンにて

テーマ：「生活と乗り物」

アンケート調査の結果

Q1 回答者の属性 (回答者数40)

a.	留学生	9
b.	留学生の家族	2
c.	市民	23
d.	日本人学生	6
e.	その他	0
	合計	40

Q2 今回のセミナーを知ったきっかけ (複数回答あり)

	質問事項	日本人	留学生	合計
a.	学校の先生	0	3	3
b.	友人・知人	7	4	11
c.	広報さっぽろ	7	0	7
d.	新聞	1	0	1
e.	プラザだより	10	2	12
f.	ポスター・チラシ 国際プラザ 3、区民センター、 その他の場所 (学校の掲示版)	2	1	3
g.	その他 (インターネットなど)	4	0	4

注) 一般市民の場合、プラザだより(10)が多く、次に友人・知人(7)、広報さっぽろ(7)が多かった。留学生は友人・知人、先生からが多かった。

Q3 今回のセミナーへの参加理由 (複数回答あり)

	質問項目	日本人	留学生	合計
a.	内容に興味があった	17	4	21
b.	留学生の話に関心があった	22	2	24

c.	市民との対話をしたかった	2	3	5
d.	その他（ ） 参加しました	1	3	4

注) 日本人は留学生の話に興味があつて参加したことが分かる。

その他は、市民が留学生との交流(回答数1)、留学生が発表者の知り合い(回答数2)、彼女に誘われて(回答数1)であった。

Q 4 今回のセミナーに対する満足度(回答者数 40)

	質問項目	日本人	外国人	合計
a.	とても良かった	20	7	27
b.	良かった	11	2	13
c.	良くなかった	0	0	0
d.	不満足	0	0	0
	合計	31	9	40

*その他の感想や希望など

<留学生>

感想

- ・これからもこの様な異文化交流に参加したい 3名
(もっと回数を増やして、料理を作るあつまりで、日本の若者と交流)
- ・グループトークでいろいろな話が聞けてとても楽しかった。また参加したい。
- ・時間が短く感じた
- ・休み中の旅行、街歩き 2名
- ・たくさん日本語が話せる機会があつて、勉強になった。

希望

- ・もっとこの様に日本の若者と交流できる機会を増やしてほしい 2名
- ・休暇中に何処か旅行に出かける機会を作って欲しい

<市民>

日本人学生から

感想

- ・とても面白かった、感謝 4名
(理由:特にグループトークが楽しかった、市民と話せてよかった、色々な国の話が聞けて良かった、次が楽しみ、グループトークの30分が足りない、長い)

希望

- ・この会に感謝、また参加したい 2名
- ・小学校、中学校などにも留学生との交流を広げてほしい 2名
- ・もっと多く増やして 1名

一般市民から

感想

- ・大変楽しかった、感謝 9名
(留学生が一生懸命で、自由に、直接話が出て、色々な話が出来て、日本の若者とも話せて、アゼルバイジャンの方の話に学んだ)
- ・また参加したい
- ・お茶とお菓子もご馳走さま
- ・テーマが良かった 3名
(テーマを通して国を知れた、公共交通機関のことがわかった)

希望

- ・食事会(持ち寄り、日本の家庭料理を振る舞う) 2名
- ・外国人家族との交流 (小学校、中学校に外国人の子どもと訪問など)

1月10日(土)「お正月を楽しもう！」
場所：札幌国際交流館
内容：もちつき、着付け、お正月あそび

外国人参加者の感想

【着付け体験】

- ・着付けの間にボランティアの人と話したのがたのしかった。まだ日本にきたばかりで、着物をきれてうれしかった。
- ・たくさん縛られたので苦しかったが、初めて着るのでうれしかった。こんなにたくさん重ねて着るとは思わなかった。
- ・日本間に行って写真を撮れるのがうれしかった。足を置いてはいけないところ、座り方などいろいろ作法があることが分かった。

【もちつき】

- ・早くつかないといけないのに、杵がおもくて大変だった。
- ・タイミングを取るのが難しかった。
- ・いろんな日本人の人と話ができてよかった。日本語の勉強をもっと頑張りたいと思った。
- ・また、地域の人と一緒にできるイベントがあったら参加したい。

【お正月遊び】

- ・こどもと一緒に遊んで、たのしかった。遊び方をいろいろと教えてもらった。
- ・お正月の挨拶や、干支、など初めてのことを知ることができてよかった。
- ・折り紙でいろいろなものを折れることがわかり、すごいと思った。こまを折って、競って遊ぶのが面白かった。
- ・いろいろな日本文化が体験できた。普段のお正月でも日本ではこのようなことはもうあまりしないらしいので、この機会に参加できてよかった。

平成27年2月28日(土) 実施

ひなまつり

会場：札幌国際プラザ

着付けについて

- ・2月末に帰国が決まっているので、その前に着物を着る機会があっけうれしかった。
- ・着物を着るのに40分くらいかかったが、その間にどんな時に着物を着るのかなど、教えてもらったのでよかった。
- ・夫婦で着物を着ることができ、よい記念になった。他の参加者とも交流し、楽しい時間を過ごした。また機会があれば、ぜひ参加したい。

お茶の飲み比べについて

- ・緑茶以外にもいろいろな種類のお茶があることがわかった。
- ・飲み比べは難しかったが、それぞれのお茶の特徴を知ることができた。

南京玉すだれについて

- ・すだれでいろいろな形を作れるのが面白いと思った。自分で実際に体験することもでき、よい経験となった。
- ・南京玉すだれは見るのも聞くのも初めてだった。まだまだ知らない日本の文化があることを知り、もっと学びたいと思った。

折り紙について

- ・ボランティアの方に教えてもらいながら、自分でひな人形を作ることができて感激した。
- ・飾ってあったコマを作ってみたくて、作り方を教えてもらった。細かい部分もあり難しかったが、ボランティアの方がやさしい日本語で丁寧に教えてくれた。

お箏の演奏について

- ・ジブリの音楽など、知っている曲を演奏したが、箏の音色で聞くとまた雰囲気が違ってよかった。
- ・ひなまつりの歌は、日本語の歌詞が難しかったが、歌詞が印刷されていたので何とか歌うことができた。

バザーについて

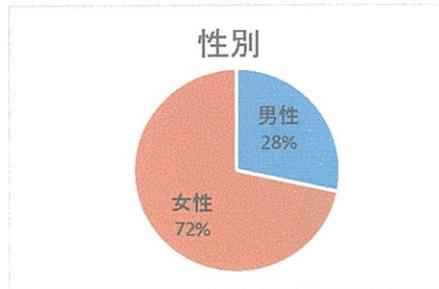
- ・和柄の小物をとても安く買うことができた。収益が寄付されるのもよいアイデア。

シンポジウム「おとなりさんは外国人！？」～日本語でつくろう多文化共生コミュニティ～

参加者アンケート

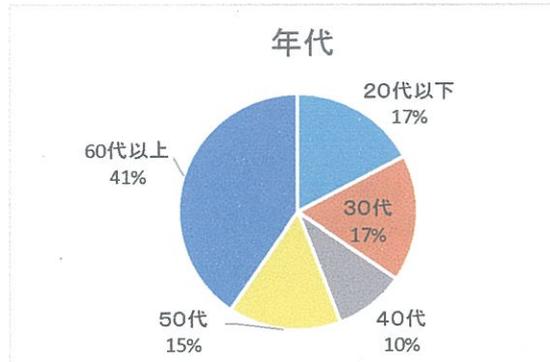
(1) 性別

男性	15
女性	38



(2) 年代

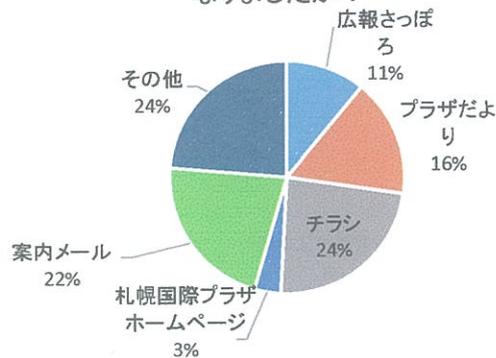
20代以下	9
30代	9
40代	5
50代	8
60代以上	21
未記入	1



(3) シンポジウムはどのようにしてお知りになりましたか？

広報さっぽろ	6
プラザだより	9
チラシ	13
新聞	0
札幌国際プラザホームページ	2
案内メール	12
その他	13
未記入	1

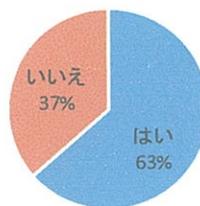
シンポジウムをどのようにしてお知りになりましたか？



(4) これまでに札幌国際プラザを利用したことはありますか？

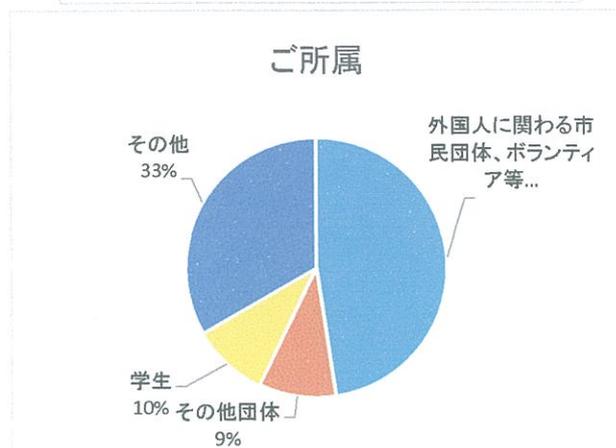
はい	33
いいえ	19
未記入	1

これまでに札幌国際プラザを利用したことはありますか？

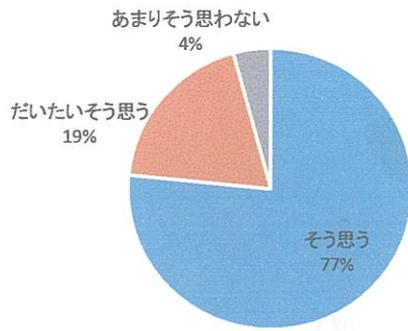


(5) ご所属

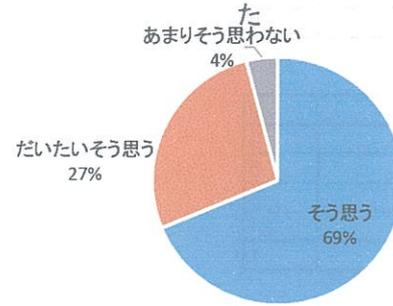
外国人に関わる市民団体、ボランティア等	20
その他団体	4
学校教諭	0
学生	4
その他	14
未記入	12



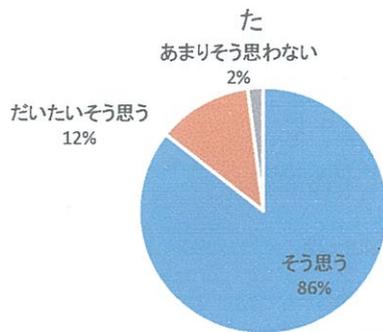
有意義なシンポジウムとなった



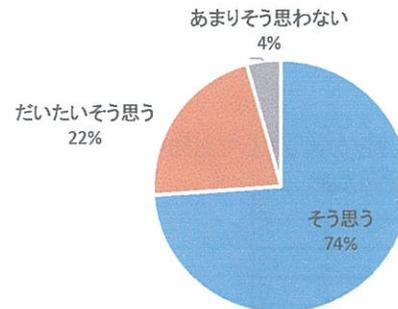
「ことばがわからない体験」を通して、在住外国人への対応についての課題がよくわかった



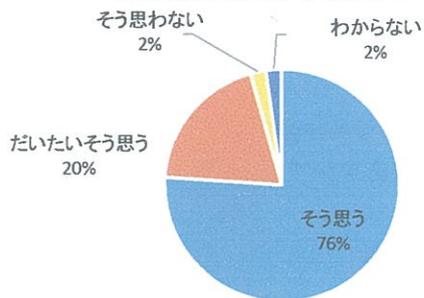
在住外国人の体験談を聞き、外国人を含めた地域での生活について関心が高まった



パネルディスカッションで札幌での外国人支援、日本語事業について関心が高まった



今後もこのようなテーマのシンポジウムや講演会があれば参加したい



地域日本語教育パワーアップセミナー ～地域社会とともに作る日本語学習環境～

第1回『多文化共生と日本語教育』

平成26年10月19日(日)13:00-16:00

場所：札幌国際プラザ 会議室
(札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3階)
定員：80名(参加無料・先着)

日本語教育支援と担い手同士の連携について、講演や意見交換を通じて共に考えるセミナーです。
札幌圏内で日本語教育事業に関わる方、ご興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください。

第1部：講演「多文化共生の構築に向けた日本語教育」

講師：土井佳彦氏(多文化共生リソースセンター東海 代表理事)
近年の日本語教育事業の動向や、各地の特徴的な担い手同士の連携の事例についての講演をしていただきます。

第2部：各団体の情報交換(札幌こども日本語クラブ・札幌日本語クラブ)

札幌で活動している日本語ボランティア教室に、団体が抱えている問題についての発表をしていただきます。その後、担い手同士が連携してその課題にどう対応するか、ワークショップ形式で考えていきます。

<問合せ・参加申込み>

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部(担当：大高、八幡)

TEL：011-211-2105 FAX：011-232-3833

Email: tabunka@plaza-sapporo.or.jp

【次回開催予定】地域日本語教育パワーアップセミナー第2回

日時：平成26年11月22日(土)

『新宿の現場から見る日本語教育の課題(仮)』

講師：山本弘子氏(新宿カイ日本語スクール)

地域日本語教育パワーアップセミナー

～地域社会とともに作る日本語学習環境～

第2回

『多様化する日本語学習者が抱える問題と対応』

平成26年11月22日(土)13:00-16:00

場所：ACU [アキュ] 中研修室1605

(札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16F)

定員：60名 (参加無料・先着)

日本語学習者が抱える様々な問題について、事例を通して学び、どのように解決に導けるのかとともに考えながら対応力をつけるためのセミナーです。札幌圏内で外国籍市民への日本語教育事業に関わる方、ご興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください。

第1部：講演

「多様化する日本語学習者が抱える問題への対応

～新宿・大久保の日本語学校から～

講師：山本 弘子 氏 (新宿カイ日本語スクール 代表)

『日本一の多国籍タウン』として知られている新宿・大久保の日本語学校の先生の経験をもとに、外国人の増加とともに多様化する問題に対し、日本語教育支援者はどう関わればいいのかお話頂きます。

第2部：事例研究

具体的な事例をもとに、日本語教育者として、学習者が抱える個別のトラブルにどう対応すればいいのか、グループワーク形式で一緒に考えます。

<問合せ・参加申込み>

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部

(担当：大高、八幡)

TEL：011-211-2105 FAX：011-232-3833

Email: tabunka@plaza-sapporo.or.jp

(講師プロフィール)

カイ日本語スクール代表。大学卒業後、ゼネコンに就職。2年後に日本語教師養成講座を受講し、日本語教育の世界に入る。'87年に仲間とともにカイ日本語スクールを設立。多国籍を旨とし、これまでに100カ国以上の留学生を受入れてきた。'05年ヨーロッパの語学学校協会IALCに入会。海外の語学学校や留学者との交流を通して日本語留学の振興と質向上を目指して活動中。1児の母。

【次回開催予定】地域日本語教育パワーアップセミナー第3回

日時：平成26年12月21日(日)

講師：野山 広氏(国立国語研究所 准教授)

地域日本語教育パワーアップセミナー

～地域社会とともに作る日本語学習環境～

第3回 『日本語教育政策から考える 札幌のまちづくり』

平成26年12月21日(日)13:00-16:00

場所：ACU [アキュ] 中研修室1605

(札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16F)

定員：60名 (参加無料・先着)

「日本語教育政策と札幌のまちづくり」をテーマに、講演や意見交換を通じて札幌の日本語教育のこれからについて共に考えていくセミナーです。札幌圏内で外国籍市民への日本語教育事業に関わる方、ご興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください。

第1部：講演「日本語教育政策から考える 札幌のまちづくり」

講師：野山 広 氏 (国立国語研究所 准教授)

言語教育政策や異文化教育を専門に研究されている野山氏より、国の日本語教育政策や、日本語教育事業の日本全国の動向について講演をしていただきます。

第2部：ワークショップ～日本語学習者のための居場所づくりに向けて～

グループごとに札幌の日本語教育における課題や問題点を共有し、日本語学習者が地域に定着していくためには担い手がどのように連携していけば良いのか、話し合いながら考えていきます。

<問合せ・参加申込み>

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部 (担当：大高、八幡)

TEL：011-211-2105 FAX：011-232-3833

Email: tabunka@plaza-sapporo.or.jp

【地域日本語教育シンポジウム】

平成27年2月 開催予定!

用日语聊天吧

日本語で話しましょう

일본어로 이야기해요

レッツトーク日本語

Let's Talk JAPANESE



日本語ボランティアと一緒に、自由にお話ししましょう。初心者大歓迎!

"Let's Talk JAPANESE" is a place for foreigners to talk freely in Japanese. Volunteer staff are available to assist, so even beginners can feel at ease.

日本の文化を知って、札幌で楽しく暮らしましょう。お待ちしております!

Let's study Japanese together to lead a more comfortable life in Sapporo! Drop in whenever you wish!

●日時：毎月第2、4水曜日 午後2時から3時30分まで

Date & Time : Every 2nd and 4th Wednesday of the month 14:00 - 15:30

时间：毎月第2、第4个周三 下午2点至3点30分

일시：매월 둘째, 넷째 수요일 오후 2시부터 3시 30분까지

●場所：札幌国際プラザ 交流サロン

Place : Sapporo International Communication Plaza, Communication Salon

地点：札幌国際交流中心 交流沙龙

장소：삿포로 국제플라자 교류 살롱

参加費：無料

(予約不要)

Fee : Free
(walk-ins welcome)

参加費：免费
(无需预约)

참가비：무료
(예약 불필요)

お問い合わせ：(公財) 札幌国際プラザ

Sapporo International Communication Plaza Foundation

Tel : 011-211-2105

Email : plazai@plaza-sapporo.or.jp

Web : <http://www.plaza-sapporo.or.jp/>

札幌市中央区北1条西3丁目札幌 MNビル 3F (時計台向かい)

(地下歩行空間 9番出口または地下鉄大通駅 16番出口から)

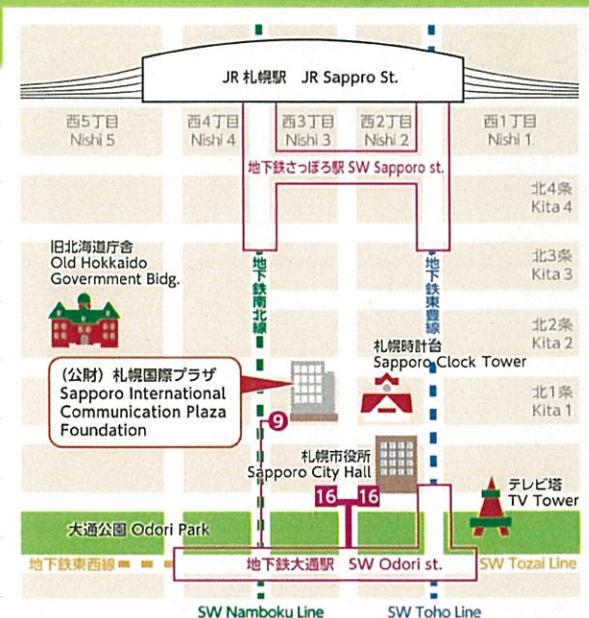
MN Building 3F, Kita 1 Nishi 3, Chuo-ku, Sapporo

(across from the Clock Tower)

(Exit 9 of the Sapporo Ekimae-dori Underground Walkway.

Exit 16 of Odori Subway Station.)

協力：日本語ボランティア「窓」



れっつ とーく に ほんご すべしやる

レッツトーク日本語スペシャル

あにめ まな にほんご
～アニメで学ぶ日本語～



Let's Talk JAPANESE Special

Study Japanese through anime

へいせい ねん がつ にち ぎん

平成26年10月24日(金) 18:30～20:00

Oct.24(Fri.)

さんかむりょう
参加無料
Fee: Free

ばしょ さっぽろこくさい

場所：札幌国際プラザ

Place: Sapporo International Communication Plaza

さっぽろし ちゅうおうくきた じょうにし ちょうめ さっぽろ

札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3F

MN Building 3F, Kita 1 Nishi 3, Chuo-Ku, Sapporo



たいしょう がいこくせき かた

対象：外国籍の方 Target: Foreign nationals

ていじん にん もうしこみせんちゃくじゅん

定員：30人 (申込先着順) Capacity: 30 people
(First come first serve)

地下歩行空間9番出口または
地下鉄大通駅16番出口
Exit 9 of the Sapporo Ekimae-
dori Underground Walkway.
Exit 16 of Odori Subway Station.

しょうにんずう ぐるーぷ わ にほん あにめすたじおじぶり たの にほんご まな
少人数のグループに分かれ、日本のアニメ(スタジオジブリ)で楽しく日本語を学びます。

にほんご べんきょう がいこくせき かた さんか
日本語を勉強している外国籍の方ならだれでも参加できます！

Break into small groups and have fun learning Japanese through anime(STUDIO GHIBLI).
Any foreign national studying Japanese is welcome to participate!

といあわ もうしこ
問合せ・申込み
Apply/contact

きょうりやく にほんご ぼらんていあ まど
協力：日本語ボランティア「窓」
In cooperation with: Nihongo Volunteer Group "MADO"

E-mail, TEL, FAX

さっぽろこくさい
(公財)札幌国際プラザ
Sapporo International Communication Plaza
TEL: 011-211-2105 FAX: 011-232-3833
Email: tabunka@plaza-sapporo.or.jp



Let's talk 日语特别篇 ~看动画片学日语~



렛츠토크 일본어 스페셜

- 애니메이션으로 배우는 일본어 -

2014年10月24日 (周五) 18:30~20:00

2014년 10월 24일(금)

参加费免费
참가 무료

地点：札幌国际交流中心

장소：삿포로 국제플라자 교류살롱

札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MN大厦3楼
삿포로시 주오구 기타1 니시3 삿포로 MN빌딩 3층



对象：外国籍人士

대상：외국국적이신 분

定额：30人

정원：30명

(按报名先后顺序)

(신청 선착순)

地下步行空间9号出口或地铁
大通站16号出口
지하보행공간 9번출구 또는
지하철 오도리역 16번출구

分为人数较少的组，看日本动画片(STUDIO GHIBLI)学习日语。学习日语的外国籍人士均可参加！

소인원으로 그룹을 나누어 일본 애니메이션(스튜디오 지브리)으로 즐겁게 일본어를 배웁니다. 일본어를 공부하고 계신 외국분이시면 누구나 참가할 수 있습니다!

协办：日语志愿者“窗口” 협력：일본어 불런티어 [마도]

报名、咨询
신청, 문의

E-mail, TEL, FAX

札幌国际交流中心

(공익재단법인) 삿포로 국제플라자

TEL : 011-211-2105 FAX : 011-232-3833

Email: tabunka@plaza-sapporo.or.jp



Let's learn.

Childcare Services and Child Health Care, and Enjoy Raising Your Children in Sapporo!



さっぽろで子育てを楽しもう！

～赤ちゃんの保健と子育て支援サービスについて知ろう～

0歳から3歳までのお子さんを育てている、またはこれからお父さんお母さんになる予定の外国籍の方を対象に、赤ちゃんの予防接種や健康診断などの保健情報と、札幌市の子育て支援サービスについてお話しします。 ※英語通訳があります。

This is a seminar about childcare services in Sapporo, and maternal and child health care consisting of vaccination processes, check-ups, etc. for foreign citizens who are going to become parents soon and/or parents nursing a child up to the age of 3 in Sapporo.

*English interpretation and baby-sitting service during the seminar are available.

【日時/Date】 2014年11月9日(日) 13:30～15:30

Sunday, November 9, 2014 13:30～15:30

【会場/Place】 札幌国際プラザ交流サロン (中央区北1条西3丁目札幌 MNビル 3F)

Sapporo International Communication Plaza Communication Salon
(Sapporo MN Bldg. 3F Kita 1 Nishi 3, Chuo-ku, Sapporo)

【申込と定員/ Application and Capacity】

10月14日(火)受付開始。先着大人20名。

Application begins on Tuesday, October 14.

20 parents can participate on a first-come basis.

【託児について/Baby-sitting service】

先着5名。託児が必要な方は、セミナーお申込の際にお子さんのお名前、年齢、性別、言語をお知らせ下さい。

The baby-sitting service is available for 5 children on a first-come basis. If you need the service for your child, please tell us upon your application, your child's name, age, gender and language.

【お問合せ・お申込先/Contact & Where to Apply】

札幌国際プラザ 多文化交流部

Sapporo International Communication Plaza

Tel (011)211-2105 Fax(011)232-3833

E-mail tabunka@plaza-sapporo.or.jp

【主催/Organizers】

公益財団法人札幌国際プラザ/Sapporo International Communication Plaza Foundation

札幌市子ども未来局/Bureau for the Future of Children, City of Sapporo

SEMI(札幌英語医療通訳グループ)/Sapporo English Medical Interpreters' Group

Baby-sitting service
available! Bring your
child with you☺



セミナー内容 / Seminar Details



○札幌市保健所健康企画課母子保健係 池村 麻衣子さん

Ms. Maiko Ikemura, Public Health Office, City of Sapporo

妊婦検診、お子さんの予防接種や病院受診のこと、保育のサービスなど、妊娠してからお子さんが3歳になるまでの母子保健に関して覚えておいていただきたいことについてお話いただきます。

Prenatal check-ups, vaccination for young children, taking your children to hospitals, etc. Important information for expectant mothers and parents of 0 to 3 years old.

○札幌市子ども未来局子育て支援部子育て支援課 加藤 正典さん

Mr. Masanori Kato, Bureau for the Future of Children, City of Sapporo

子育てに係る助成制度や、保育サービスなど、札幌市の子育て支援制度についてお話いただきます。

Sapporo's childcare services, including financial support and daycare services

○福山 桂子先生(勤医協札幌病院小児科)

Dr. Keiko Fukuyama, pediatrician, Kin-ikyō Sapporo Hospital

お子さんに良くある病気やその症状についての情報、予防接種について

Common symptoms in infants and young children, vaccinations, etc.

質疑応答 / Q&A

子育てに関するどんな話題でも歓迎します。今後の札幌の子育て支援サービスに活かすため、お話をお聞かせください。事前に質問のある方は、お申込時に内容をお知らせいただければ、当日回答いたします。

We will welcome any topics on childcare. Your comments and opinions will help us further improve the childcare services in Sapporo. If you have any questions, please tell us upon your application. The answers will be given in the seminar.

さっぽろし ぼうさいじぎょう きょうりょく

札幌市の防災事業に協力してくれる

がいこくせきし みるんぼしゅう

外国籍市民募集！！

Disaster-preparedness Drill

for Citizens with Foreign Nationality!



(公財)札幌国際プラザ

Organized by Sapporo International Communication Plaza Foundation (SICPF)

9月1日(月)に行われる「札幌市総合防災訓練」に参加し、避難訓練、災害時の避難所の運営方法を体験しながら、防災について学びます。防災訓練終了後はプラザが行う外国籍市民のための防災事業について皆さんからの意見を聞かせてください。(お礼を差し上げます)

この機会に防災の知識を一緒に高めませんか？

Participants will take part in a Sapporo City's comprehensive disaster drill and learn about disaster prevention measures while experiencing disaster drills and emergency shelter set-up drills. After the drills, we would like you to give us your opinions and ideas about our disaster prevention events for foreign nationals in Sapporo.(We'll give you a thank-you gift) Take this opportunity to expand your knowledge of disaster prevention!

【対象】 札幌市内に在住する外国人の方
Participants Citizens with foreign nationality who live in Sapporo

【日時】 2014年9月1日(月) 9:00~13:00頃
Date Monday, September 1, 2014 9:00AM – 1:00PM

※9時に南北線澄川駅改札集合
※Meet at Sumikawa Subway Station, Namboku Line, ticket gate at 9:00

【会場】 札幌大学第5駐車場(札幌市豊平区西岡)
Place the 5th Parking of Sapporo University(Nishioka, Toyohira-ku, Sapporo)

【内容】 9:00~11:30 避難訓練、避難所開設訓練、など
 11:30~12:30 昼食をとりながら防災についての意見交換会
Program 9:00~11:30 participate in a disaster drill and evacuation center set-up drill
 11:30~12:30 exchange opinions about the SICPF disaster prevention measures with lunch

【募集人数】 先着10名 *Capacity* 10 people on a first-come basis
 (参加協力として1500円相当のお礼をさしあげます)
 (We'll give you a gift worth 1500 yen for your cooperation)

【お申込・お問合せ】 (公財)札幌国際プラザ(SICPF)多文化交流部
For Application/Inquiry ☎ 011-211-2105
 ✉ tabunka@plaza-sapporo.or.jp

担当 担当 person in charge : 大高OTAKA (Ms.)・金子KANEKO (Ms.)



招募愿意参与札幌市防灾活动的外国市民

参加9月1日(周一)举行的“札幌市综合防灾训练”，体验避难训练、发生灾害时避难场所的运作方法，学习防灾知识。防灾训练结束后，将就国际交流中心为外国市民举办的防灾活动征求大家的意见。(准备了小礼品)，借这个机会一起来提高自己的防灾知识水平吧！

【参加对象】住在札幌市的外国人

【举办时间】2014年9月1日(周一) 9:00~13:00左右

※9:00在地铁南北线澄川站检票口集合

【地点】地札幌大学第5停车场(札幌市丰平区西冈)

【内容】9:00~11:30 避难训练、避难场所开设训练

11:30~12:30 边吃午饭边进行防灾意见听取会

【招募人数】先到先得10名

(为参加者准备了相当于1500日元的小礼品)

【报名咨询】公益财团法人札幌国际交流中心 多文化交流部

TEL: 011-211-2105

E-mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp

担当: 大高 金子



삿포로시의 방재행사에 협력해주실 외국적시민을 모집합니다!!

9월 1일(월)에 실시되는「삿포로시 종합방재훈련」에 참가하여, 피난훈련, 재해시의 피난처의 운영방법을 체험하면서 방재에 대해서 배웁니다.

방재훈련 종료후에 삿포로국제플라자에서 실시하고 있는 외국적시민을 위한 방재행사에 대해서 여러분의 의견을 들려주세요 (감사의 선물을 드립니다) 이번을 기회로 방재의 지식을 넓혀 보지 않으시겠습니까?

【대상】삿포로 시내에 거주중인 외국인

【일시】2014년 9월 1일(월) 9:00~13:00경

※9시에 지하철 난보쿠선 스미카와역 개찰구 집합

【회장】삿포로대학교 제5주차장(삿포로시 도요히라구 니시오카)

【내용】9:00~11:30 피난훈련, 피난처개설훈련 등

11:30~12:30 점심을 먹으면서 방재에 대한 의견교환회

【모집인원】선착순 10명

(참가협력해 주신 분께는 1500엔 상당의 선물을 드립니다)

【신청·문의】공익재단법인 삿포로국제플라자

다문화교류부 담당: 오오타카 Otaka(Ms.) · 카네코 Kaneko(Ms.)

TEL: 011-211-2105 E-mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp

避難
シミュレーション
ゲーム

*Evacuation simulation
game*



かんたん
どこでもできる！簡単
セルフマッサージ

Self-massage Lesson

おおじしん つなみ はっせい
大地震により津波が発生したら？

言葉がわからない、けが、積雪・・・いろいろなシチュエーションを想定したコースをクリアしながら、助け合って津波から逃げる避難シミュレーションゲームです。
午後は、家でも避難所でも気軽にできるセルフマッサージでリラックスしましょう。

If an Earthquake and Tsunami hit your area, what would you do?

Language barrier, injury and snow...
in this game, try helping each other to evacuate from a tsunami while clearing obstacle scenarios using simple Japanese.
In the afternoon, you will learn how to conduct easy self-massage which can be done at home or an evacuation site.

さっぽろしみん がいこくせきしみん
札幌市民、外国籍市民 50名 募集！

For 50 Sapporo citizens and foreign nationals!!



11月16日(日) / November 16 (Sun.) 10:00-15:30

ばしょ / さっぽろこくさいこうりゅうかん たいいくしつ
場所 / Place : 札幌国際交流館 (リフレサッポロ) 体育室 /

Sapporo International Sports Hall (Rifure Sapporo) Gymnasium

(白石区本通 16 丁目南 4-26 / Hondori 16-chome Minami 4-26, Shiroishi-ku)

どうじつ こくさい ちかてつどうざいせんなんごう ちょうめえき
当日は国際プラザと地下鉄東西線南郷18丁目駅よりバスが出ます。

Bus will pick up participants at SICPF and Nango 18-chome Subway Station(Tozai Line).

申込・問合せ / Apply and Contact:

(公財) 札幌国際プラザ / Sapporo International Communication Plaza Foundation

E-mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp / Fax 011-232-3833 / TEL 011-211-2105

主催： (公財) 札幌国際プラザ・(一財) さっぽろ健康スポーツ財団

りゅうがくせい

きものたいけん

留学生のための着物体験



When?
2014年6月14日
土曜日 1PM~

Where?
札幌国際プラザ
交流サロン
(中央区北1条西3丁目 時計台向かい)

After dressing up in Kimonos, you can enjoy some tea together with the volunteers.

着物を着た後は、着付けボランティアさんと一緒にお茶を楽しみましょう！

さんかむりよう

参加無料！ No entry fee!

たいしょう さつぼろけん だいがく ざいがくちゅう
対象：札幌圏の大学に在学中の

りゅうがくせい
留学生

ていいん めい せんちやくじゅん
定員：15名（先着順）

もうしこみほうほう
申込方法：5月26日（月）9:00~

★お名前、性別、大学名、身長、
電話番号を書いてEメールでお申込み

ください！ Please send your name,
gender, university, height and
phone number to:

forum@plaza-sapporo.or.jp



主催：札幌圏大学国際交流フォーラム 共催：(公財)札幌国際プラザ

お問い合わせ：札幌圏大学国際交流フォーラム事務局 杉本・本間 (☎ 011-211-2105)

だい かい
第18回 SKYオープンセミナー



りゅうがくせい しみん つど
留学生と市民をつなぐ集い

りゅうがくせい
・留学生とアフタヌーントーク

こんかい
今回のテーマは・・・『行事と食べ物』

つきみ だんご としこ そば くに
月見には団子 年越しには蕎麦 …… あなたの国では？

これを食べなきゃこの日じゃない！！

オーストラリア、韓国、中国、ベトナム、ルーマニアなどの留学生が行事と
食べものを通して母国のお話をさせていただきます。

がつ にち
7月13日(日) 1:00～3:30 p.m.
(受付: 12:30～)

かい じょう さっぽろこくさい
★ 会場: 札幌国際プラザ
北1条西3丁目(MNビル3F)

さんかひ む りょう
★ 参加費: 無料

しょうげんご にほんご
★ 使用言語: 日本語

てい いん せんちやく めい
★ 定員: 先着 50 名



さんかもう こ
★ 参加申し込み

E-mail : o.sem.sky@gmail.com

さんかしゃ なまえ めいさ うえ
(参加者のお名前を明記の上)

Tel: 011-211-2105 Fax: 011-232-3833

さっぽろこくさい たぶんかこうりゅうぶ
札幌国際プラザ 多文化交流部

しゅ さい さっぽろこくさい がいこくご
主催: 札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク "SKY"

きょう さい こうえきざいだんほうじん さっぽろこくさい
共催: 公益財団法人 札幌国際プラザ

ゆかたを^き着^{ある}て歩^{ある}こう！

Try on a Yukata and Walk Around!

ゆかたとは、夏^{なつ}に着^きる簡^{かん}単^{たん}な着^き物^{もの}です。

ボラン^{ぼらん}ティア^{ていあ}に助^{たす}けてもら^{もら}いなが^{なが}ら、ゆか^きたを^き着^きてみ^みま^ませ^せんか？

ゆか^きたを^き持^もっ^もてい^いな^ない^い方^{かた}に^には、無^む料^{りょう}で貸^かすこ^ことが^がで^でき^ます。

ゆか^きたを^き着^きたら、狸^{たぬき}小^{こう}路^じと駅^{えき}前^{まへ}通^{とほり}りを歩^{ある}きま^まし^しょう。

皆^{みな}さん^{さん}の参^ま加^かを^をお^お待^{まち}ちし^してい^いま^ます♪

が^がい^いこ^こく^くじ^じん^ん か^かた
外^{がい}国^{こく}人^{じん}の方^{かた}
げ^げん^んて^てい^い
限^{げん}定^{てい}！



に^にち^ちじ^じ ね^ねん^ん が^がつ^つ に^にち^ち ど^ど
日^{にち}時^じ: 2014年7月19日(土)13:00~

ば^ばしょ^{しょ} こん^{こん}し^しゅ^ゅー^ーま^まー^ーふ^ふあ^あい^いなん^んす^すか^かぶ^ぶし^しき^きが^がい^いし^しゃ^ゃ
場^{ばしょ}所^{じょ}: SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

ぶ^ぶろ^ろみ^みす^すさ^さつ^つぼ^ぼろ^ろ き^きゃ^ゃく^くさ^さま^まさ^さー^ーび^びす^すぶ^ぶら^らざ^ざ い^いべ^べんと^とす^すべ^べー^ーす^す
プ^ぷロ^ろミ^みス^す札^{さつ}幌^ほお^お客^{きゃく}様^{さま}サ^さー^ービ^びス^すプ^ぷラ^らザ^ざ イ^いベ^べント^とス^すペ^ぺー^ース^す

ち^ちゅう^{ゅう}お^おう^うく^くみ^みな^なみ^み じ^じょう^{ょう}に^にし^し ち^ちょう^{ょう}め^め し^しみ^みず^ずび^びる^る か^かい^い た^たぬ^ぬき^きこ^{こう}う^うじ^じ ち^ちょう^{ょう}め^め
(中^{ちゅう}央^{おう}区^く南^{なん}2^に条^{じょう}西^{せい}4^し丁^{てい}目^め 清^{せい}水^{すい}ビ^びル^る2^に階^{かい}) ※[※]狸^{たぬき}小^{こう}路^じ4^し丁^{てい}目^め★

ひ^ひょう^{ょう} む^むり^りょう^{ょう} て^てい^いい^いん^ん に^にん^ん せ^せん^んち^ちやく^{やく}じ^じゆ^ゆん^ん
費^ひ用^{よう}: 無^む料^{りょう} 定^{てい}員^{いん}: 15人 (先^{せん}着^{ちやく}順^{じゆん})

もう^{もう}し^しこ^こみ^みさ^さき^き
申^{もうしこみ}込^{さき}先^{さき}: sjcunit@gmail.com

し^しめ^めい^い せい^{せい}べ^べつ^つ こ^こく^くせ^せき^き か^か か^かた^た し^{しん}ち^ちょう^{ょう} お^おし^し
氏^し名^{めい}、性^{せい}別^{べつ}、国^{こく}籍^{せき}を(ゆか^かた^たを^を借^かり^りる^る方^{かた}は^は身^{しん}長^{ちよう}も)教^{おし}えて^てく^くだ^ださ^さい。

- 自^じ分^{ぶん}のゆか^かた(あ^あれ^れば、帯^{おび}、腰^{こし}ひも、肌^{はだ}着^{だき}な^など^も)が^があ^ある^る方^{かた}は、持^もっ^もて^てき^きて^てく^くだ^ださ^さい。
- T^しャ^ゃツ^つ、短^{たん}パ^ぱン^ん、レ^れギ^ぎン^んス^すな^など^どを^を着^きて^てき^きて^てく^くだ^ださ^さい。
- 履^はき^き物^{もの}は^はサン^{さん}ダ^だル^るな^など^どが^が合^あい^いま^ます。
- ゆか^かた^たを^を買^かい^いた^たい^い方^{かた}は、相^{そう}談^{だん}し^して^てく^くだ^ださ^さい。



Try on a Yukata and Walk Around!

A *yukata* is a simple *kimono* for summer season. Are you interested in putting on a *yukata* with the help of volunteers? If you don't have a *yukata*, we can lend you one for free.

After you are set, let's enjoy walking around the Tanuki-koji Arcade and Ekimae-Dori Avenue!

We look forward to having you joining us♪

Event for
Foreign
Nationals

Date: **July 19 (Sat.), 2014**

Start at **1:00 p.m.**

Venue: The event space of SMBC Consumer Finance Co., Ltd.
(Located in Tanuki-koji 4 chome) Please see the map below! ★
(Address: Shimizu Bldg. 2F, Minami 2-jo Nishi 4-chome, Chuo-ku)

Fee: **Free**

Capacity: First 15 applicants

Apply to: sjcunit@gmail.com

(Please inform us of your name, gender and nationality.)

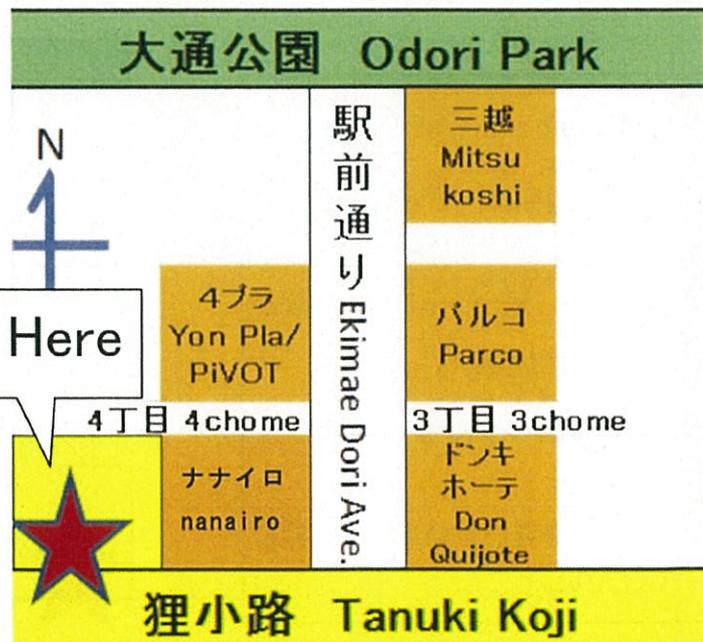
If you want to borrow a *yukata*, please tell us your height too.)

Enquiry: TEL. (011) 211-2105

(Sapporo International Communication Plaza Foundation)



- * If you have your own *yukata* (or *obi*, *koshi-himo* and/or underclothes for a *yukata*), please bring them with you.
- * Please come wearing T-shirt, and short pants or leggings.
- * Sandals look good with a *yukata*.
- * If you want to buy a *yukata*, please contact us.



Hosted by Sapporo International Communication Plaza, Foreign Language Volunteer Network
(Sightseeing and Japanese Culture Unit)
Co-hosted by Sapporo International Communication Plaza Foundation

平成26年度 北区民講座

共催:公益財団法人 札幌国際プラザ
札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク“SKY”
協力:札幌市立白楊小学校

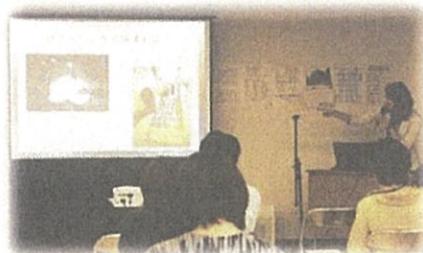


第3回 SKYオープンセミナー 地域版

留学生とふれあいトーク



札幌市内には、約2,000人の留学生が住んでいます！
留学生の自国の文化や、札幌での生活で感じていることをお話ししていただきます。
知らないこと、知りたいことを楽しくトークしてみませんか？



今回は、韓国・中国・タイからの留学生3名にお話ししていただきます♪



日 程:8月21日(木)



時 間:13:30~15:00(受付13:15~)

場 所:札幌市立白楊小学校 3階 第1会議室
(札幌市北区北24条西7丁目1番1号)

定 員:20名(先着順)

参加費:無 料

使用言語:日本語

受付期間:8月11日(月)~8月17日(日)

申込方法:北区民センター仮事務所 ☎ 757-3511
(8/1~8/4は引っ越しの為、お休みです)



※北区民センターは休館のため、会場が白楊小学校になります！

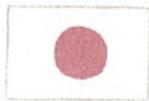
世界のスポーツ
を体験しよう!

さっぽろスポーツDAY リフレ国際スポーツフェスティバル

2014年10月12日(日) 10:00-16:00



① 10:00-11:00 ソクジェン (中国)



② 11:00-12:00 スポーツチャンバラ (日本)



③ 11:00-12:00 スポーツ吹矢 (日本)



④ 13:00-14:00 カポエイラ体験 (ブラジル)



⑤ 14:00-16:00 キンボールスポーツ (カナダ)



会 場：札幌国際交流館（リフレサッポロ）体育室
白石区本通16丁目南4-26

対 象：小学生以上

定 員：各40名（先着）

参加費：無料

持ち物：運動しやすい服装、上靴、飲み物、汗拭きタオル

申 込：参加を希望する番号（複数可）を

札幌国際交流館へ電話（011-866-3811日本語）、

または札幌国際プラザへメール

（tabunka@plaza-sapporo.or.jp）英語可）にて



主催：(一財)さっぽろ健康スポーツ財団 共催：(公財)札幌国際プラザ

Experience the sports around the world!

SAPPORO SPORTS DAY Rifure International Sports Festival

Sunday, October 12, 2014 10:00-16:00

-  ① 10:00-11:00 Jianzi (China)
-  ② 11:00-12:00 Sports chanbara (Japan)
-  ③ 11:00-12:00 Blowpipe darts (Japan)
-  ④ 13:00-14:00 Capoeira (Brazil)
-  ⑤ 14:00-16:00 Kin-Ball Sport (Canada)



Where: Sapporo International Sports Hall
(Rifure Sapporo) Gymnasium
Minami 4-26, Hondori 16-chome, Shiroishi-ku

Target: 40 persons for each event,
elementary school age and up

Fee: Free

Sign-up: E-mail Sapporo International Communication Plaza
(English) tabunka@plaza-sapporo.or.jp with the event
number(s) (①-⑤) in which you want to participate, or call
Sapporo International Sports Hall (Japanese) at
011(866)3811.

*Please bring comfortable clothing, indoor shoes, a beverage and a towel with you.

Host: Sapporo Health & Sports Foundation
Co-host: Sapporo International Communication Plaza Foundation

JapanカルチャーDAY

着物きて、
お茶を楽しむ
秋の午後



お茶や折り紙、日本文化を通して国際交流してみませんか♪

日時 2014年11月 3日(月・祝) 13:30~16:00

場所 JICA北海道

(札幌市白石区本通16丁目南4-25)

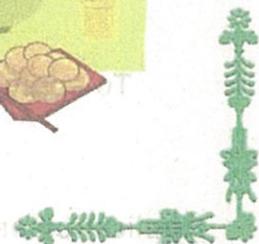
対象 高校生以上

参加料 <無 料>

定員 ①着付け(外国籍の方) 24名(先着)

②お茶 50名(先着)

申込 2014年10月14日(火) 午前9:00~



お問い合わせ・お申し込み先

札幌国際プラザ 多文化交流部

TEL: 011-211-2105

e-mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp

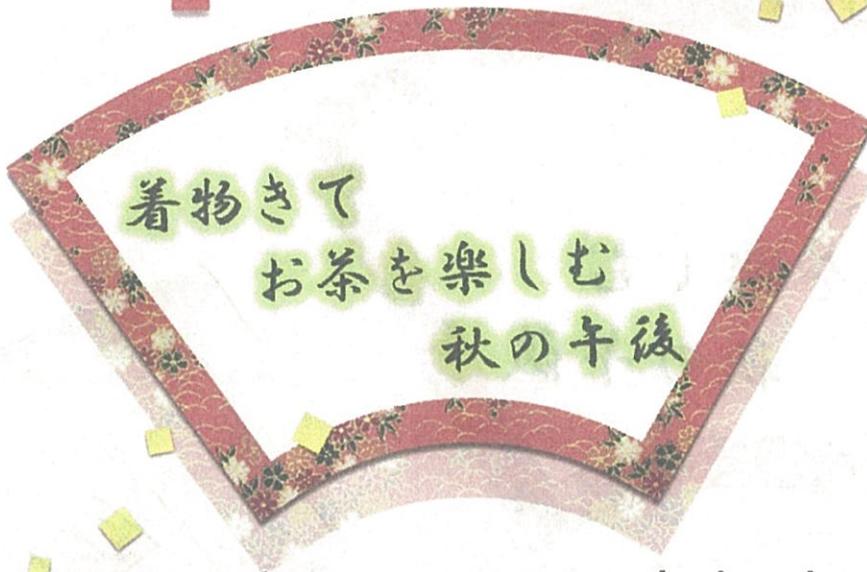
札幌国際交流館

TEL: 011-866-3811

主催:  一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

 公益財団法人 札幌国際プラザ

JapanCulture DAY



Kimono wearing, tea ceremony and origami
Experience Japanese traditions on Culture Day!



When Monday (Holiday), November 3, 2014 13:30-16:00

Where JICA Hokkaido (Hokkaido International Center)
(Minami 4-25, Hondori 16-chome, Shiroishi-ku)

For: High school age and above

Fee: Free

Capacity: ①Kimono wearing (Foreign nationals only) first 24 persons

②Tea ceremony first 50 persons

To apply: Tuesday, October 14, 2014 9:00~

Application and inquiries:

Sapporo International Communication Plaza Foundation

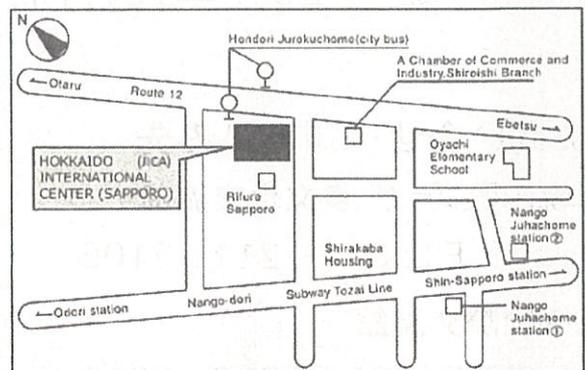
E-mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp (English)

Sapporo International Sports Hall

TEL: 011-866-3811 (Japanese)

Hosted by: Sapporo Health & Sports Foundation

Sapporo International Communication Plaza Foundation



だい かい
第19回 SKYオープンセミナー

りゅうがくせい しみん つど
留学生と市民をつなぐ集い

りゅうがくせい
留学生とアフタヌーントーク

こんかい
今回のテーマは『生活と乗り物』

せいかつ の もの なん
～ 生活にかかせない乗り物は何ですか ～



アゼルバイジャン、イギリス、インドネシア、韓国、中国、ロシアの留学生が
くに しゅっしんち せいかつ のりもの とお ぼこく はなし
国や出身地での生活にかかせない乗り物を通して母国のお話をさせていただきます。



がつ にち ど
12月13日(土)

1:00～3:30 p.m.

うけ つけ
(受付: 12:30～)



かい じょう さっぽろこくさい
★ 会場: 札幌国際プラザ

北1条西3丁目(MNEビル3F)

さんかひ む りょう
★ 参加費: 無料

しょうげんご にほんご
★ 使用言語: 日本語

てい いん せんちやく めい
★ 定員: 先着 50 名



さんかもう こ
★ 参加申し込み

E-mail : o.sem.sky@gmail.com

さんかしゃ なまえ めいき うえ
(参加者のお名前を明記の上)

Tel: 011-211-2105 Fax: 011-232-3833

さっぽろこくさい たぶんかこうりゅうぶ
札幌国際プラザ 多文化交流部



しゅ さい さっぽろこくさい がいこくご
主催: 札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク "SKY"
きょう さい こうえきざいだんほうじん さっぽろこくさい
共催: 公益財団法人 札幌国際プラザ



SAPPORO UNIVERSITIES INTERNATIONAL FESTIVAL

12月20日(土)

10:00~16:00

会場 北海道大学

国際本部/遠友学舎/ク
ラーク会館国際交流室

企画 札幌圏大学国際フェスタ
運営 実行委員会

主催 札幌圏大学国際交流
フォーラム

共催 北海道大学国際本部/
(公財)札幌国際フーズ

北大元氣プロジェクト 2014 採択企画



SUIF



札幌圏の大学生が主催する異文化体験/国際交流会です。各国のブースから料理、料理教室、民族衣装、民芸品、習字(言語の書き方教室的なもの)、言語を習うなどの体験ができます。

札幌圏大学国際フェスタ

繋がる、サツポロ。
ツチガル、世界。

北大正門(北8条)

13条門

18条門

クラーク会館

国際本部

遠友学舎

樽前通

*札幌圏大学国際フェスタ(SUIF)は札幌圏大学国際交流フォーラムの設立25周年を記念し、2014年から学生主体で国際交流フェスティバルを大学を越えてみんなで作ろう！ということになりました。

CONTENTS

会場：遠友学舎

(札幌市北区北18条西7丁目)

II.特設会場

各国のスイーツや飲み物を販売するインターナショナルカフェや、小学生向けワークショップ、各国の留学生によるパフォーマンスを催します。



会場：北海道大学国際本部

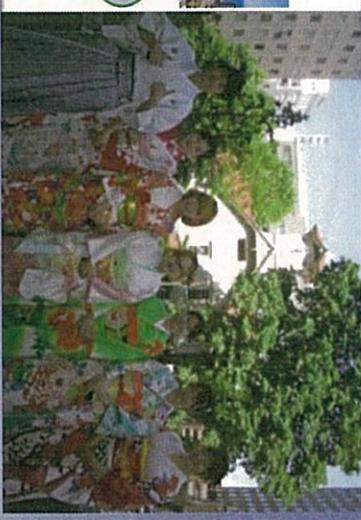
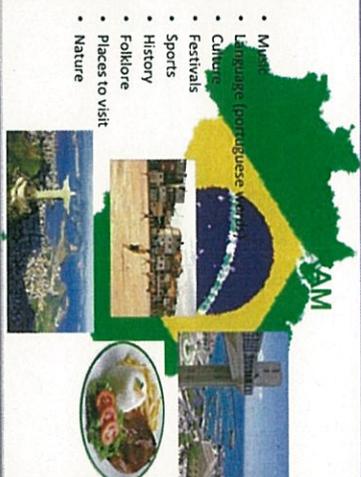
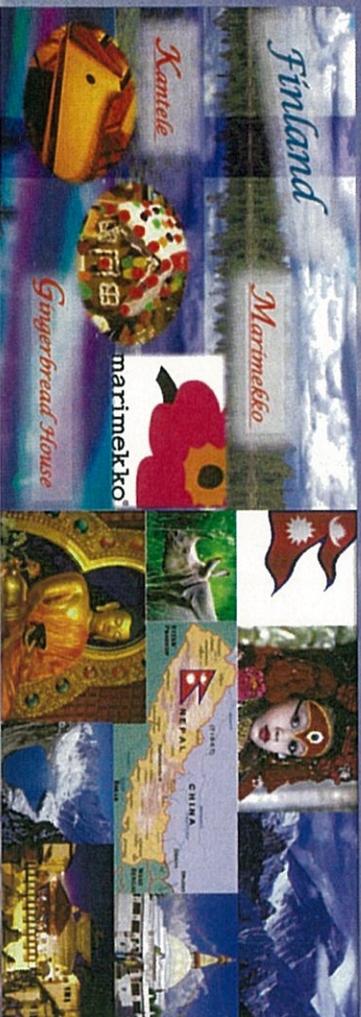
(札幌市北区北15条西8丁目)

I.各国ブース

様々な国からのブースが出店し、それぞれの料理や文化等を紹介しします。

参加国一覧

イギリス/インドネシア/ウズベキスタン/カザフスタン/
韓国/台湾/中国/日本/ネパール/ブラジル/コロンビア/
ド/フランス/ベトナム/ロシア



フィンランド

ネパール

ブラジル

日本

お正月を楽しもう！

1月10日(土) 11時～14時

札幌国際交流館 **参加無料**

ついたお餅はその場で振る舞います

国際交流しながら、
昔ながらのお正月遊びを
楽しみましょう！

着付け体験
餅つき・福笑い
けん玉・コマ
絵手紙など



申込開始：12/15(月) 9時から

会場：札幌市白石区本通16丁目南4-26 リフレサッポロ

定員：① お餅つきなど 50名(小学生以上)

② 着付け 24名(高校生以上の外国籍の方)

申込先：札幌国際交流館 TEL:866-3811

札幌国際プラザ TEL:211-2105

e-mail:tabunka@plaza-sapporo.or.jp

※12/27(土)～1/4(日)は e-mailアドレスのみの受付となります。

主催:(一財)さっぽろ健康スポーツ財団、(公財)札幌国際プラザ
共催:独立行政法人 国際協力機構 北海道国際センター

Let's Enjoy New Year's!

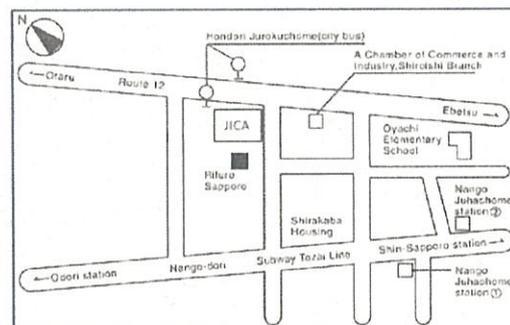
2015.1.10 (Sat.) 11:00-14:00
Sapporo International
Sports Hall (Rifure Sapporo) **FREE**

Pound and taste freshly made mochi!

Enjoy the Japanese
New Year's with
participants around
the world!



Kimono dress-up, mochi
making, face-making
game, kendama,
spinning-top, Etegami
(hand-painted card), etc.



Sign-up begins: Dec. 15 (Mon.) from 9:00 by phone or e-mail. First come, first served.

Venue: Rifure Sapporo (Hondori 16-chome Minami 4-26, Shiroishi-ku)

Capacity: ① Mochi making, etc.: 50 persons (elementary age and older)

② Kimono dress-up: 24 persons (foreign nationals only; high school age and older)

Sign-up: Rifure Sapporo TEL: 866-3811

SICPF TEL: 211-2105

mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp

※Please contact via emails only between Dec. 27 and Jan. 4.

Host: Sapporo Health Sports Foundation, Sapporo International Communication Plaza Foundation
Co-host: Japan International Cooperation Agency Hokkaido International Center (Sapporo)

第23回 ひな祭り

日本の伝統行事である「ひな祭り」を通して、いろいろな国からのお客さまと交流します。

箏の演奏、南京玉すだれ、折り紙、日本茶をみんなで楽しみましょう。

着物の着付けや和物バザーもあります。どうぞお気軽にお越しください。

日時: 2月28日(土) 13:30~15:30

場所: (公財)札幌国際プラザ 交流サロン

札幌市中央区北1西3 札幌Mビル3F (時計台前)

費用: 無料

申し込み: 着物の着付けのみ必要です。

対象: 外国籍の方(高校生以上)

定員: 16名(人数が多い場合は抽選)

申し込みは 2月2日(月)~20日(金)に

札幌国際プラザへ

FAX (011-232-3833) またはメール

(tabunka@plaza-sapporo.or.jp) にて。

プログラム

13:00 受付開始、着物の着付け開始

13:30 開会、南京玉すだれ

13:45 自由参加コーナー

和物バザー、南京玉すだれ、折り紙、日本茶の飲み比べ

15:00 箏の演奏

15:30 閉会

着物の小物や日本風の雑貨などが

お得に買えるかも!?



主催: 札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク

共催: (公財)札幌国際プラザ

お問い合わせ: (公財)札幌国際プラザ 多文化交流部 電話011-211-2105 メールtabunka@plaza-sapporo.or.jp

The 23rd Hina-matsuri

Date: February 28 (Sat.) 1:30-3:30p.m.
 Venue: Sapporo International Communication Plaza Foundation
 MN Bldg. 3F, Kita 1 Nishi 3, Chuo-ku
 (Across the street from the Sapporo Clock Tower)

Enjoy the Japanese traditional "Doll Festival" with guests from various countries. Please feel free to join us!!

Free of charge. Application is not required except for those who want to try on kimono.

(16 people (non-Japanese high-school students or older) selected by a drawing will win a chance to wear kimono. Please contact at SICPF from Feb. 2nd (Mon.) to 20th (Fri.).)

Program: 1:00 p.m. Reception opens and kimono-dressing starts.
 1:30 p.m. Opening and welcome performance of *Nankin Tamasudare* with bamboo screen
 1:45 p.m. Activities (*Nankin Tamasudare*, Origami, Bazaar of Japanese style items, Japanese tea tasting)
 3:00 p.m. Performance of *Koto* (Japanese harp)

Inquiries and application for kimono-wearing: SICPF
 (FAX: 011-232-3833 / Mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp)

Fancy Japanese-style items, such as general goods and small articles made of kimono fabric, all at a bargain price!

第23届 女儿节会

日期: 2月28日(周六) 13:30-15:30
 会场: 札幌国际交流中心 交流沙龙
 札幌市中央区北1西3 札幌 MN 大楼 3F (钟楼对面)

通过日本的传统活动“女儿节”大家能跟外国朋友一起交流。欢迎大家来参加!

参加费: 免费
 报名: 不需要报名, 自由参加
 体验穿和服: 只限定 16 名试穿和服

(需要提前报名...报名人数多时, 抽签选择。 报名资格...16 岁以上的外国人。)
 报名期间...2月2日~20日 报名处...札幌国际交流中心 多文化交流部

节目: 13:00 开始入场、体验穿和服
 13:30 开会、南京玉帘表演
 13:45 自由参加区 (体验南京玉帘、折纸、义卖会、品尝日本茶和中国茶)
 15:00 古筝演奏

咨询/体验穿和服报名: 札幌国际交流中心 多文化交流部
 (FAX: 011-232-3833 / Mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp)

义卖的东西是由和服布料制造的小东西, 日本风的杂货等。可以买到便宜可爱的东西。

제 23 회 히나마쓰리

일시: 2월 28일 (토) 13:30 ~ 15:30
 행사장: 삿포르국제플라자 교류살롱
 삿포르시 주오구 기타 1 조 니시 3 초메 MN 빌딩 3 층 (시계탑앞)

일본의 전통문화 히나마쓰리를 여러나라에서 오신 손님들과 함께 즐겨봅시다. 꼭 와주세요.

참가비: 무료
 신청: 불필요. 단 기모노를 입고 싶으신 분은 신청이 필요합니다.

(16살이상인 외국 국적이신 분. 추첨으로 16명을 고릅니다. 2월 2일~20일까지)
 삿포르국제플라자 다문화교류부에 신청해 주십시오.

프로그램: 13:00 접수 개시, 기모노 입기 개시
 13:30 개회, 난킨타마스다레 퍼포먼스
 13:45 체험하자!(난킨타마스다레 체험, 종이접기, 일본 잡화 바자회, 일본차를 마시며 비교하기)
 15:00 고토 연주

문의/기모노 신청: 삿포르국제플라자 다문화교류부
 (FAX: 011-232-3833 / Mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp)

기모노 소품, 일본 잡화 등을 유리하게 살 수 있을지도 모르겠어요.

シンポジウム

「おとなりさんは
外国人!?!」

日本語でつくろう多文化共生コミュニティー

ファシリテーター●多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏



第1部

「ことばが
わからない体験」

ことばがわからないとどのような場面で困るのでしょうか。体験しながら考えます。また、在札の外国籍市民から体験談をお話いただきます。

講師：瀬戸メラル氏

第2部

「パネルディスカッション」

『あなたが住んでいるまちに外国人家族が引っ越して来たら?』

学校や地域、社会それぞれの取組や課題、実体験をもとに、札幌のまちづくりを考えます。

パネリスト（予定）：北24条商店街振興組合、札幌子ども日本語クラブ、北海道日本語教育ネットワーク

日時

平成27年2月11日(水・祝日)
13:00~16:30

会場

札幌国際ビル8階 国際ホール
札幌市中央区北4条西4丁目1番地

定員

100名(先着)

参加無料

お申し込み

電話、メール、FAXで下記までお申し込みください。

札幌国際プラザ/ Tel: 011-211-2105 Fax: 011-232-3833
E-mail: tabunka@plaza-sapporo.or.jp



●地上からお越しの方

さっぽろ駅8番出口横が札幌国際ビルの入り口です。駐車場は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

●地下からお越しの方

札幌市営地下鉄南北線さっぽろ駅コンコースを出て、すぐに見えるサンクスが目印です。国際ビル飲食店街に入り、左手のエレベータをご利用ください。